

令和6年度

中頓別町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書
(ダイジェスト版)

令和8年1月

中頓別町教育委員会

は じ め に

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに町民に対する説明責任を果たすために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和6年度の教育委員会の活動状況や事務事業の点検・評価を実施し、報告するものです。

この点検・評価は「第8期中頓別町総合計画（令和4年4月1日～令和14年3月31日）」の基本計画中、「第4章 目指す未来」に定める施策に沿って、毎年度、点検・評価を実施することとしています。

教育委員会としては、この点検・評価の結果を事業改善等に役立てながら、課題や今後の取組の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図りたいと考えていますので、今後とも皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年1月

中頓別町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 教育委員会の会議の開催状況	1
2. 教育委員の活動状況	3
3. 法規・規則の制定、計画等の策定状況	8
4. 附属機関等の審議概要	9
5. 令和6年度教育目標並びに施策の体系	11
(1) 中頓別町教育推進計画	12
(2) 第8期中頓別町総合計画	13
6. 施策項目(事務事業)ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性	
(1) 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり	15
① あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実	
② 自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実	
(2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり	23
① 自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進	
② 特色ある教育活動の推進	
(3) 大人も一緒に学べるまちづくり	26
① 生涯教育の推進	
② いくつになっても楽しく参加できる文化スポーツ活動の推進	
(4) 別紙資料	
別紙1 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実績	33

【資 料】

○宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況	43
○社会教育関連施設の利用状況	44
○教育関係団体活動状況	
・体育団体関係	48
・文化団体関係及びその他教育関連団体関係	49

1. 教育委員会の会議の開催状況

中頓別町教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。

この会議において、3名の中頓別町教育委員会委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則の制定など、様々な議題について審議しています。

日 時	付 議 案 件 等	
6. 4. 23 (火)	議案	・学校運営協議会委員（認定こども園）の委嘱（変更）について ほか5件
	協議	・5月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 5. 27 (月)	議案	・特別支援連携協議会委員の委嘱（変更）について ほか2件
	協議	・6月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 6. 26 (水)	議案	・特別支援教育就学奨励費の認定について
	協議	・7月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか5件
6. 7. 29 (月)	議案	・教育委員の辞職願に対する同意について
	協議	・8月定例教育委員会議について
	報告	・教育行政報告 ほか3件
6. 8. 28 (水)	議案	・令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への 市町村別結果の掲載について ほか4件
	協議	・9月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 9. 17 (火)	協議	・10月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 10. 3 (木)	議案	・教育長職務代理者の指定について
6. 10. 31 (木)	議案	・中頓別町学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
	協議	・11月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 11. 26 (火)	議案	・中頓別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告について ほか1件
	協議	・12月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
6. 12. 19 (木)	議案	・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果 報告書」への市町村結果の掲載について ほか1件
	協議	・1月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件

日 時	付 議 案 件 等	
7. 1. 30 (木)	議案	・令和7年度児童生徒の適切な就学先の決定について ほか2件
	協議	・2月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件
7. 2. 27 (木)	議案	・中頓別町いじめの防止等に関する条例の制定について ほか4件
	協議	・3月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか3件
7. 3. 18 (火)	議案	・中頓別町立小・中学校に係る学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
	協議	・4月定例教育委員会議の日程について
	報告	・教育行政報告 ほか4件

中頓別町教育委員会委員名簿

役 職 名	氏 名	任 期
教育長職務代理者	石井 英正	R2.10.1～R6.9.30
教育長職務代理者	小倉 弘	R6.10.1～R10.9.30
教育委員	小倉 弘	R3.11.1～R6.9.30
教育委員	澤里 優	R4.12.22～R8.12.21
教育委員	長尾 祐一	R6.10.1～R10.9.30
教育長	相座 豊	R3.7.1～R6.6.30
教育長	大島 朗	R6.7.1～R9.6.30

2. 教育委員の活動状況

教育委員は、月1回の定例会やこども園、小・中学校の各種行事及び社会教育関係の行事へ出席するなどの活動をしています。

主な活動状況

日付	曜日	活 動 内 容	場 所	出席委員名
4・1	月	認定こども園入園式	こども園	町長、教育長、校長
4・4	木	着任教職員辞令伝達式	町民センター	教育長他
4・6	土	夢と希望と感動体験事業（レバンガ観戦）7日まで	きたえーる	社教他
4・7	金	中頓別中学校入学式	中中	町長、教育長、議員
		浜頓別高校入学式	浜頓別高校	教育長
4・9	火	中頓別小学校入学式	中小	町長、教育長、議員
4・12	金	管内教育長会議・管内校長会議	宗谷教育局	教育長
4・16	火	高校配置計画地域別検討協議会	Zoom	教育長、各校長
4・18	木	全国学力学習状況調査	小・中学校	教育長
4・19	金	放課後子どもプラン開校式	町民セ	教育長、社教他
4・22	月	社会教育委員会	町民セ	教育長、社教他
4・23	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
4・25	木	ハワイ語学研修実行委員会	町民セ	教育長、小中管理職他
		スポーツ推進委員会	町民セ	教育長、社教他
5・2	木	ハワイ語学研修説明会	町内セ	教育長、次長、JTB
5・11	月	町クリーン作戦	町内	
5・13	月	管内学力保障会議	Zoom	教育長
		第8地区教科書採択教育委員会協議会	Zoom	教育長
5・16	木	町議会いきいきふるさと常任委員会	役場	教育長、推進室長
5・19	日	消防団春季演習	消防署	教育長、宮崎校長
5・20	月	高山植物観察会	町内	文化財保護委員
5・22	水	町スポーツ協会総会	町民セ	教育長、社教他
5・25	土	スポーツ少年団結団式、体力測定会	小学校	教育長、社教他
5・26	日	町長杯町民パークゴルフ大会	寿PG場	教育長、社教
5・27	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
5・28	火	町育英会役員会・総会	町民セ	町長、教育長、役員
5・29	水	コンプライアンス確立会議	Zoom	教育長
6・7	金	I C T共同調達会議	Zoom	教育長、次長

6・8	土	中頓別中学校運動会	中学校	町長、教育長、議員
6・10	月	文化協会総会	町民セ	教育長、石井
6・17	月	第2回町議会定例会（18日休会、20日まで）	役場	教育長、次長
6・22	土	こども園運動会	こども園	町長、教育長、議員
6・23	日	町民ソフトボール大会	運動公園	教育長、職員
6・26	水	浜高を支援する会	浜頓別高校	教育長
		定例教育委員会議	町民セ	教育長他
6・30	土	中頓別小学校運動会	中小	教育長 中校長
7・3	水	赤ちゃんだっこ体験	保福セ	
7・10	水	町特別支援連絡協議会役員会	町民セ	教育長他
7・18	木	第59回北海道市町村教育委員研修会	札幌市	職務代理
7・29	月	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
7・30	火	中頓別学園保護者説明会（昼・夜2回）	町民セ	
8・1	木	合同学校運営協議会	町民セ	教育長、次長他
8・3	土	北緯45度夏祭り	町民セ	
8・5	月	教科書採択教育委員会協議会	稚内	教育長
8・6	火	臨時議会	役場	教育長
8・7	水	ハワイ語学研修出発（14日帰町）	町民セ	次長、ダリン
		臨時教育長会議、3町村教育長・次長協議	オンライン	教育長
8・13	火	移動図書館①	弥生、寿、藤井他	育てる図書チーム
8・14	水	移動図書館②	兵安、上頓、小頓、松音他	育てる図書チーム
8・15	木	移動図書館③	旭台、あかね、上駒他	育てる図書チーム
8・20	火	仮校舎に向けた粗大ごみ処理①	小中学校	教委、学校、各課代表
		檜原民之助氏等慰霊祭、物故吏員法要	町内	教育長
8・21	水	仮校舎に向けた粗大ごみ処理②	小中学校	教委、学校、各課代表
8・22	木	チームビルディング研修	町民セ	教委職員
8・24	土	プールフェスタ	町民プール	社会教育
8・26	月	文化塾 夢と未来の特別授業	町民セ	小中学生
8・27	火	文化祭実行委員会	町民セ	教育長、社会教育
8・28	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
8・29	木	第2回学力保障会議	オンライン	教育長
9・1	日	第45回町民駅伝大会	町内	教委事務局
9・9	月	第3回定例町議会（11日まで）	役場	教育長

9・12	木	部活動の地域移行に係る学習会	町民セ	教育長、社会教育
9・13	金	巡回小劇場 ミュージカル「オズの魔法使い」	町民セ	社会教育、児童生徒
9・17	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
9・19	木	折れない心を育てる命の授業	役場、町民セ	教育長他
9・20	金	折れない心を育てる命の授業	中中	推進室
		通学路安全推進会議	町民セ、通学路	教育長、学校教育
9・28	土	夢と希望と感動体験事業「日ハム観戦」	エスコンF	社会教育
10・2	水	第2回文化祭実行委員会	町民セ	社会教育
10・3	木	臨時教育委員会議	町民セ	教育長他
10・4	金	人事推進会議、教育長部会	オンライン	教育長
10・5	土	秋季町民体力テスト	中小体育館	社会教育
10・8	火	社会教育委員会議	町民セ	教育長、社会教育
10・15	火	管内働き方改革推進会議	オンライン	教育長
10・17	木	全道教育長部会研修会	札幌	教育長
10・24	木	管内市町村教育委員会研修会	稚内	教育長
10・26	土	中中学校祭	中中	町長、教育長
10・31	木	定例教育委員会議	役場	教育長他
		町長がおじゃまします（宮下）	宮下自治会館	教育長
11・1	金	町長がおじゃまします（松音知）	小頓別集会施設	教育長
		町長がおじゃまします（小頓別）		
11・3	日	町民文化祭	町民セ	教育長他
11・4	月	町民文化祭、健康講座	町民セ	教育長他
11・11	月	町長がおじゃまします（ひよっこクラブ）	保健セ	教育長
		町長がおじゃまします（第1町内会）	専念寺	教育長
11・12	火	移動図書室（～13日）	町内各所	図書担当、社教等
11・13	水	町長がおじゃまします（藤井）	藤井自治会館	教育長
11・14	木	大崎上島町交流事業（～17日）	大崎上島町	教育長
11・21	木	中頓別・浜頓別合同学校経営研修	浜頓別町	教育長、次長、指導主事
11・26	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
11・27	水	市町村教育委員会新任委員研修会	オンライン	教育長
12・3	火	議会全員協議会	役場	教育長
12・9	月	学校教育指導訪問（要請訪問）	中小	教育長、指導主事
12・11	水	定例議会（～12日）	役場	教育長、次長

12・15	日	町身体障がい者福祉協会年末交流会	モトマツダ	教育長
12・17	火	管内教育長会議	オンライン	教育長
		冬季スポーツ推進関係者会議	町民セ	教育長、社教担当
12・18	水	教育支援委員会	町民セ	教育長、次長他
12・19	木	東京学芸大学より調査研究説明	町民セ	教育長、次長、指導主事
		定例教育委員会議	町民セ	教育長他
12・20	金	寿スキー場安全祈願祭	寿スキー場	教育長、次長他
12・21	土	寿スキー場オープン	寿スキー場	
1・4	土	新年交礼会	役場	
1・5	日	消防出初式	町民セ	
1・7	火	議会全員協議会	役場	教育長、次長
1・12	日	20歳を祝う会	町民セ	教育長他
1・23	木	第4回情報機器整備共同調達会議	オンライン	教育長
1・27	月	臨時議会	役場	教育長、次長
1・29	水	学校建築シンポジウム	オンライン	教育長
1・30	水	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
2・4	火	学校づくり委員会	中小	教育長他
2・12	水	学校建設に伴う町民説明会① 昼、夜	役場	教育長、次長、指導主事
2・13	木	学校建設に伴う町民説明会① 昼、夜	役場	教育長、次長、指導主事
		生徒指導連絡協議会	オンライン	教育長
2・15	土	宗谷校長会勇退感謝会	稚内	教育長
2・19	水	特別支援教育連絡協議会役員会	中中	教育長、学教担当
2・20	木	学力保障会議	オンライン	教育長
2・26	水	外部評価委員会	役場	教育長、次長
2・27	木	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
		学校訪問	こども園、小中	教育長他
3・1	土	浜頓別高校卒業式	浜頓別高校	教育長
3・2	日	スノーフェスティバル	寿スキー場	教育長、全職員
3・5	水	第3回管内教育長部会	オンライン	教育長
		第4回管内教育長部会		
3・7	金	第1回定例議会（～12日）	役場	教育長、次長
3・9	日	中頓別中学校卒業式	中中	教育長、指導主事

3・13	木	臨時議会	役場	教育長、次長
		少年団卒団式	中小	教育長
3・14	金	放課後プラン閉講式	町民セ	教育長、社教担当
3・16	日	中小メモリアルデイ	中小	教育長他
3・18	火	定例教育委員会議	町民セ	教育長他
3・21	金	社会教育委員会	町民セ	教育長、社教他
		町民センター避難訓練	町民セ	教委職員
3・22	土	中頓別小学校卒業式	小学校	町長、教育長他
3・24	月	議員全員協議会、臨時議会	役場	教育長、次長
3・25	火	フリースクール修了式	町民セ	教育長、指導主事
3・26	水	小学校仮校舎引越し	小→中	教委、役場職員他
3・27	木	こども園卒園式	こども園	町長、教育長他

3. 法規・規則等の制定、計画等の策定状況

令和6年度に改正または制定された教育関係規則の数は5本です。

なお、法規、規則等の制定の状況は次のとおりです。

(1)教育委員会規則

題 名	公布年月日	施行年月日
中頓別町学校給食費補助金交付規則の一部を改正する規則	R06.04.23	R06.04.1
語学指導等を行なう外国青年の給与等に関する条例の一部を改正する条例	R07.03.24	R07.03.24
中頓別町立学校設置条例の一部を改正する条例	R07.03.24	R07.03.26
中頓別町いじめの防止等に関する条例	R07.03.24	R07.03.24
中頓別町いじめの防止等に関する条例施行規則	R07.03.24	R07.03.24

4. 付属機関の審議概要

中頓別町教育委員会に設置している主な付属（審議）機関は、次のとおりです。

令和6年度には各機関等において、諮問された次の審議事項について、答申等に向けた協議、検討が行われました。

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
社会教育委員会 R6. 04. 01～R7. 03. 31 ※定数10名以内	8名	06. 04. 22	○報告 ・令和5年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和6年度社会教育・スポーツ推進事業について（4月～3月） ・社会教育関係団体に関する補助金について
		06. 10. 8	○報告 ・令和6年度社会教育・社会体育事業について（4月～9月） ・夢と希望を！感動体験事業に関する補助金事業の実施状況について ○協議 ・文化スポーツ表彰について ・宗谷管内社会教育委員研修会について ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（9月～12月）
		07. 03. 21	○報告 ・令和6年度社会教育・社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・令和7年度の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）
スポーツ推進委員会 R6. 04. 01～R7. 03. 31 ※定数15名以内	11名	06. 04. 25	○報告 ・令和6年度社会体育事業について（4月～3月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）
		06. 07. 05	○報告 ・令和6年度社会教育・社会体育事業について（4月～6月） ○協議 ・今後の各種社会教育・社会体育行事について（6月～12月）
		07. 03. 26	○報告 ・令和6年度社会教育・社会体育事業について（12月～3月） ○協議 ・スノーフェスティバルについて ・令和6年度の各種社会教育・社会体育行事について（4月～3月）

名称・任期	委員数	月 日	審 議 事 項 等
中頓別町特別支援教育 連携協議会 R6. 04. 01～07. 03. 31 ※関係団体・機関等 から15名以内	12名	06. 04. 17	○総会 ・令和5年度活動報告、決算報告 ・令和6年度事業計画、予算の承認
		06. 07. 10	○第1回役員会 ・「講演会開催について
		06. 10. 08	講演会・学習会（町P連子育て講演会） ・町P連主催講演会協賛
		06. 10. 17	○第2回役員会 ・情報交換会
		06. 12. 18	○教育支援委員会 ・学びの場の段階的検討 ・実施要綱等の見直し検討 ・児童相談所の巡回相談実施
		07. 02. 19	○第3回役員会 書面開催 ・令和5年度事業報告 ・令和6年度事業計画
合同学校運営協議会 R5. 04. 01～R7. 03. 31	24名	06. 08. 01 19名出席	○第1回合同学校運営協議会 ・中頓別こども園運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別小学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・中頓別中学校学校運営方針・具体的取組の説明 ・質問・意見 ・学校運営方針・具体的取組の承認 ・新しい学校づくりについて
中頓別町文化財保護委 員会 R6. 04. 01～R7. 03. 31 ※定数7名以内	4名	06. 05. 20	調査活動（高山植物群生調査 5/20） ※会議は話し合う議題がなかったため中止
中頓別町育英会 05. 05. 31～06総会まで	8名	06. 05. 28	○役員会及び総会 ・令和5年度育英会貸付業務等の報告
※会長1・副会長1 理事若干名・監事 2名			・令和5年度収支決算・監査報告 ・令和6年度の貸付者の選考審査・予算の決定

5. 令和6年度教育目標並びに施策の体系

(1) 中頓別町教育推進計画

基本理念：共生 好奇心 共創

(2) 教育推進に係る学校等の具体的な取組の総括

(3) 第8期 中頓別町総合計画（抜粋）

※別紙「第4 目指す未来」を参照

中頓別町教育推進計画 体系図

基本理念

【共 生】 まざる・きく・はなす

- ・どんな人、どんな子ともよい人間関係を築き、支えあえる教育の推進
- ・英語を通して、国際理解を深め、ふるさとを知り見つけ直す教育の推進
- ・いじめを防ぎ、どの子にも居場所があり、みんなで支えあえる教育の推進

【好奇心】 わくわくする

- ・こども園から中学までの一貫した確かな学力と健やかな体を育む教育の推進
- ・中頓別の豊かな自然を生かし、学びたいことを自ら探求できる教育活動の推進
- ・個に応じて豊かな自然の恩恵を享受しながら学び、やさしさ、たくましさ、好奇心を育む教育の推進

【共 創】 一緒にやってみる

- ・学校と地域が連携し、協働して子どもを育む体制づくり
- ・芸術文化活動やスポーツを推進し、いつまでも元気で楽しく暮らせる町づくり
- ・一人一人の「やりたい」「知りたい」をみんなでかなえられる環境づくり

17の施策項目

1	SDG s ・ ESDの推進
2	幼児教育の充実
3	新しい時代に必要となる資質・能力の育成（義務教育学校）
4	特別支援教育の推進
5	STEAM教育の推進
6	体力・運動能力の向上
7	健康教育・食育の充実
8	キャリア教育の充実
9	道德教育の充実
10	グローバル人材の育成
11	いじめ防止の取り組みの充実
12	不登校児童生徒への支援の充実
13	働き方改革の推進
14	地域と学校の連携・協働の推進
15	学びのセーフティネットの構築
16	生涯学習・社会教育の振興
17	安全・安心な教育環境の構築

第8期 中頓別町総合計画

令和4年4月1日～令和14年3月31日

※抜粋

第4 目指す未来

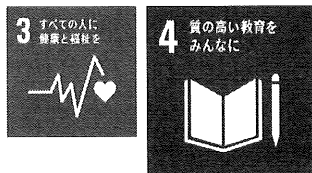
＜第8期計画の施策体系別基本方針＞

教育 将来を生きる力を育むまち

1. 幼小中を通して生きる力を育む まちづくり

(1) あそびや生活の中で生きる力、探求心・ 好奇心を育む幼児教育の充実

幼小中一貫とする隙間のない教育の機会を確保し、教育機関が連携できる環境をつくります。



＼取り組みとなる主な事務事業／

- ・認定こども園事業
- ・地域子育て支援センター事業
- ・こどもセンター事業

(2) 自ら学び自ら考える力を育てる

学校教育の充実

新しい校舎づくりと運営体制を整えるため、その学習機会を提供する土台づくりとなる施設整備をしっかりと推進します。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・教育研究指定校委託事業
- ・教職員健康診断委託事業
- ・教育研究会運営事業
- ・特別支援教育連携協議会運営事業
- ・就学奨励事業

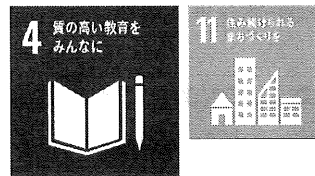
- ・小学校教育振興事業
- ・中学校教育振興事業
- ・中学校改築等推進事業

2. 子どもたちがいずれはまちに戻ってきた と思える気持ちを育てるまちづくり

(1) 自分らしい生き方を実現するキャリア 教育の推進

子どもたちが将来社会人になるときにこの町で暮らしたいと考えてもらえるよう、ふるさと教育の提供に努めるとともに、現児童生徒が卒業生と交流し、どんな社会人を目指せるように考えられる機会の提供づくりを目指します。

また、新しい学校づくりと連携して、どの年齢期においても生涯学習の機会をしっかりと提供できる取り組みを目指します。

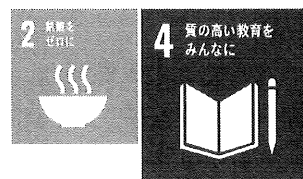


＜取り組みとなる主な事務事業＞

- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業
- ・青少年健全育成事業
- ・社会教育推進事業【再掲】

(2) 特色ある教育活動の推進

外国語の学力向上を目指すため、資格検定受検者をサポートするとともに、外国文化との交流を推進するための機会提供に努め、よその自治体にはない教育環境を整えます。



＜取り組みとなる主な事務事業＞

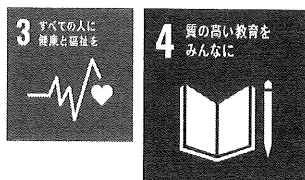
- ・外国青年招致事業
- ・英語力育成事業

- ・学習習慣育成事業補助事業
- ・学校給食事業（給食費無料）

3. 大人も一緒に学べるまちづくり

(1) 生涯教育の推進

全ての町民がいくつになっても学習をする機会を確保し、異世代交流などによる生涯学習を推進します。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・生涯学習推進事業
- ・社会教育推進事業
- ・なかとんべつ子ども読書プラン事業
- ・文化財保護事業
- ・社会教育関連施設運営業務

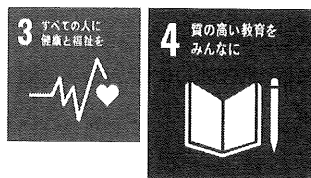
(2) いくつになっても楽しく参加できる

文化・スポーツ活動の推進

優れた芸術鑑賞の機会提供と、文化団体・サークル活動の支援を図ります。

町民のスポーツ振興に向けた設備環境を積極的に確保し、各年齢期が活躍できるようスポーツ団体の支援を図ります。

また、各種教室や大会等イベント開催を連携して充実を図ります。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・町民文化活動推進事業
- ・スポーツ推進事業
- ・町民各種スポーツ大会等運営事業
- ・冬季スポーツ教室等運営事業
- ・スポーツ関連施設運営業務

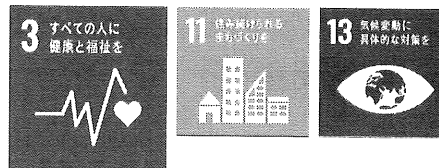
環境 美しい自然を守り共生するまち

1. ふるさとの自然に誇りが持てる

まちづくり

(2) ふるさとの自然に誇りをもてる環境教育の推進

豊かな自然環境を活かした環境学習や教育活動に取り組みます。



<取り組みとなる主な事務事業>

- ・そうや自然学校事業
- ・森のこども園

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

(1) 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

①あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和5年度	令和6年度																				
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性																				
認定こども園事業	急速な少子化の進行や家庭・地域を取り巻く環境の変化に伴い、小学校就学前の子どもに幼児教育・保育等総合的に提供する。	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的にを行い、遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきた。新体力テストの結果、敏捷性や跳躍力が高い傾向が見られた。	○学校での主体性や判断力を育てる創意工夫のある教育に接続させる視点から、自然環境を生かした「森のこども園」を積極的にを行い、またリニューアルした「園庭」を活用することで遊びの中から体力とコミュニケーション能力の一層の向上を図り学校教育を意識した幼児教育の提供を充実させてきた。																				
	【入所人員】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>・0歳児</td><td>2名</td><td>4名</td></tr><tr><td>・1・2歳児</td><td>8名</td><td>4名</td></tr><tr><td>・3歳児</td><td>8名</td><td>5名</td></tr><tr><td>・4歳児</td><td>6名</td><td>8名</td></tr><tr><td>・5歳児</td><td>8名</td><td>5名</td></tr><tr><td>合 計</td><td>35名</td><td>26名</td></tr></table> うち短時間利用児 6名 5名		R5	R6	・0歳児	2名	4名	・1・2歳児	8名	4名	・3歳児	8名	5名	・4歳児	6名	8名	・5歳児	8名	5名	合 計	35名	26名	また、年長児を対象にALTとの「英語であそぼう」を发展させ、英語劇の発表を行うとともに、年長児以外のクラスにもALTが入って一緒に遊び生活することで日常的に英会話に親しむ取り組みを行った。 ○◇職員一人ひとりが、子どもの発達や学びの連続性を理解し、きめ細かな指導や見通しをもった計画の充実を図った。また、保護者が安心して子育てできるよう、助産師や保健師と月1回の定期的な情報共有を行い、効果的な子育て支援体制充実に取り組んだ。また、子ども支援ネットワーク会議を設置し、幼小中、教育委員会、保健福祉課との情報共有を進め、行動連携につなげることができた。 また、「なかとんべつ学園」設立をめざして、アブローチカリキュラムの作成を進め、小学校での保育活動に取り組んだ。 ◇今後も職員の専門性を十分生かし、こども園が保護者の良きパートナーとなり、積極的にサポートしながら、地域全体の「子育て力」の向上に努めていくことが大切。
	R5	R6																					
・0歳児	2名	4名																					
・1・2歳児	8名	4名																					
・3歳児	8名	5名																					
・4歳児	6名	8名																					
・5歳児	8名	5名																					
合 計	35名	26名																					
地域子育て支援センター事業	すべての子育て家庭を対象に、子育ての不安に対応した相談や援助の実施。子育て家庭の交流の場の提供及び促進を図る。 【取り組み内容】 ・あそびの広場 ・育児相談 ・文庫開放 ・子育て講演／講座 ・情報の提供	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできた。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざしてこども園、小学校、中学校、教育委員会、保健福祉課で構成する教育支援ネットワーク会議を発足させ、情報共有と取組連携を行った。 ○発達障害など、成長に特別な配慮を要する子どもの「生きづらさ」をサポートするための「個別の指導計画」の取組について保護者と2回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有した。また、小中学校と同じフォーマットの個別の支援計画を作成し、幼小中連携した個別の支援を進めている。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」の運用及び、個別の発達支援を進めている。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていく。	○職員の専門性を生かし、地域の子育て家庭や妊婦を対象に、交流の場や相談の機会を充実させ、安心して利用していただける環境づくりに取り組んできた。特に子育てサロンを月1回開催し、職員が輪番で対応した。 ○生まれてから切れ目のない子育てサポートシステムの構築をめざしてこども園、小学校、中学校、教育委員会、保健福祉課で構成する教育支援ネットワーク会議を定期開催し、情報共有と取組連携を行った。 ○全ての園児の育ちを支える「ちゅらすと」～個別の指導計画の取組について保護者と2回懇談を実施して子どもの成長・発達について共有した。また、小中学校と同じフォーマットの個別の支援計画を作成し、幼小中連携した個別の支援を進めている。 ◇「こども発達支援センター『くれよん』」の運用及び、個別の発達支援を進めている。 ◇今後も、職員の専門的な知識や技術を十分に生かした子育て支援事業を展開し、各関係機関との連携を図りながら、「親育ち子育て」サポートを行っていく。																				

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

①あそびや生活の中で生きる力、探求心・好奇心を育む幼児教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
少年教育自然 体験委託事業	郷土の自然や文化に親しみながら、アウトドアの基本を身につける豊かな感性と自ら考える力を育むことを目的に、主に小中学生を対象に年間10日間の自然体験イベント「ピンネっこクラブ」を企画運営し、サポート業務を委託する（令和４年度より体制変更）。 <令和５年度> ・「BBQパーティ！」 5月28日 22名参加 ・「サマーキャンプ2023」 7月26日-28日 33名参加 ・「美深でキャンプ！松山湿原トレッキング」 9月23日-24日 9名参加 ・「クリスマススワッグをつくろう！」 12月10日 11名参加 ・「ウィンターキャンプ2024」 1月10日-11日 22名参加 ・「ピンネシリ森早春トレッキング」 3月9日 20名参加 <令和６年度> ・「山菜ピザをつくろう！」 4月20日 26名参加 ・「サマーキャンプ2024」 8月1日-2日 32名参加 ・「BBQキャンプ」 8月19日-20日 21名参加 ・「秋の味覚でピザづくり！」 11月10日 8名参加 ・「ウィンターキャンプ2025」 1月14日-15日 20名参加 ・「ピンネの山でそり滑り！」 3月8日 26名参加 ・「焚火でチーズフォンデュ！」 3月9日 26名参加	○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者をサポート業務を依頼する体制となった。 ○新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ内容を変更した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ1回を含む年間10日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に2回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に2名、2月に2名を派遣していただき、さらに、こどもプランでの音楽交流を実施している。 ●令和6年度に予定しているそうや自然学校の移管に伴い、事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。◇担当職員のスキルアップを図り、より楽しく、より安全に体験活動を取り組む体制の構築を図る。	○事業の担当者が教育委員会に移籍したことに伴い、教育委員会が主催し、委託事業者をサポート業務を依頼する体制となった。 ○職員不足により中止した回もあったものの、おおむね計画どおり宿泊キャンプ2回を含む年間10日間の事業を実施し、中頓別町の自然に親しんでもらうことができた。 ○年に2回、中頓別町学校・家庭・地域の連携による教育支援活動事業「子ども未来塾！なかとんべつチャレンジ教室」として、北海道教育大学旭川校の学生を夏期に3名、冬期に3名を派遣していただき、さらに、こどもプランでの音楽交流を実施している。 ●事業内容や予算編成について整理を行っていく必要がある。 ◇担当職員のスキルアップを図り、より楽しく、より安全に体験活動を取り組む体制の構築を図る。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
教育委員会事業	教育委員会会議開催などの事務に関すること。 ＜令和５年度＞ ・定例会議 12回 ・臨時会議 1回 ＜令和６年度＞ ・定例会議 12回 ・臨時会議 2回	○毎月1回の教育委員会会議の中で、教育行政に係る当面する課題解決に向けた審議と協議が行われた。 ○教育委員会会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、今後こども園・小・中学校一貫の義務教育学校になることから、教育推進がさらに図られるようにする。	○毎月1回の教育委員会会議の中で、教育行政に係る課題解決に向けた審議と情報共有が図られた。 ○教育委員会会議の情報公開をホームページで周知した。 ◇情報公開の徹底と教育現場への応援支援をするためにも、引き続き学校等を訪問して状況の把握に努め、今後こども園・小・中学校一貫の義務教育学校開校を視野に更なる教育推進が図られるようにする。
教育委員会事務局事業	教育委員会規則の定めにより、教育、文化、スポーツ等に関する事務事業を遂行する。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替え、小学校の中学校校舎への引っ越し、令和８年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和８年度には中頓別学園が開校予定になることから、事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のためにも、学校教育、社会教育領域の境を無くし、学校現場等を含めた一体感を醸成していく必要がある。	○教育行政を取り巻く様々な機関、団体と協力し、教育行政が抱えている当面する課題解決に向けた取組を進めることが出来た。中学校校舎の建て替え、小学校の中学校校舎への引っ越し、令和８年の開校を目指した新しい学校づくりについて検討を進めた。 ◇令和８年度には中頓別学園が開校予定になることから、事務局と学校現場等との関係をさらに密にし、学校教育・社会教育の境の無い子育て環境のさらなる充実に努めていく。 ◇教育推進の更なる向上のため、学校現場等を含めたより一層の一体感を醸成していく必要がある。
表彰及び儀式・典礼に関する事務事業	公立学校職員、教育行政職員として学校教育の振興に貢献し、特に功績が顕著であると認められた者が対象となる。 【秋の叙勲（地方教育行政功労）】 ・石井英正氏	○高齢者が１件あり、迅速に事務処理を行い、遅延なく対応することができた。 ◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。 高齢者叙勲について、各年度ごとに該当者を調べ、該当者がいれば早めに住所・生存確認等を行う必要がある。	◇死亡叙勲については遅延が許されないことから、差しさわりのない範囲で、受賞希望者の把握と申請に必要な事前準備に心がける。高齢者叙勲について、各年度ごとに該当者を調べ、該当者がいれば早めに住所・生存確認等を行う必要がある。 ◇令和７年度秋の叙勲（地方教育行政功労）の候補者として1名推薦中である。
規則・規程等に関する事務事業	規定に基づき教育委員会条例及び規則の改廃、告示及びその他の規程を定め、公表する。 【条例規則等改正】 R5 R6 ・条例 0本 3本 ・規則 1本 2本 ・規程 0本 0本 ・要綱 2本 0本 ・要領 0本 0本	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する事務処理を遅滞なく処理した。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。	○教育行政に支障を来たさない様、教育に関連する事務処理を遅滞なく処理した。 ◇今後も遅滞なく改正等の事務処理を行うとともに、随時見直しも行うようにする。 ◇小・中学校の一貫した義務教育学校の設置に向け、運営等に必要な事項を整理し、確実に事務処理を進めていく。
道内教育委員会協議会補助事業	北海道教育委員会連絡協議会及び宗谷管内教育委員会連絡協議会があり、負担金は管内教連に執行している。目的は、各市町村教育委員会相互の連絡連携を図り教育振興と充実を図る。 【補助金】 ＜令和５年度＞ ・補助金 0円 ＜令和６年度＞ ・補助金 0円	○宗谷管内教育委員研修会にオンラインにて参加。部活動の地域移行に関する今日的課題についての講演を聞き、知見を深めることができた。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。	○第59回北海道市町村教育委員研修会に参加。多様性社会における不登校の課題についての講演を聞き、知見を深めることができた。 ◇研修会に参加することで教育委員としての資質向上に繋がり、また、管内教育委員会等との情報交換は、本町の教育行政の推進に向け大変有用と考え、できるだけ出席できるように努めていく。
公用車両維持管理事業	教育行政に必要な公用車の維持管理及び遠方の児童生徒の通学の足として、スクールバスの安全運行を図る。 【車両台数】 ・事務局用車両 3台 ・スクールバス 6台 【利用者数】 R5 R6 ・こども園 3名 1名 ・小学校 11名 6名 ・中学校 3名 9名 ・高校生 3名 2名	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和３年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇令和５年度１０月から宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が始まり、安全に運行が図られた。引き続き車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。	○スクールバスは、児童生徒の送迎と合せ、認定こども園利用児の帰りの送迎にも対応し、事故も無く安全に運行が図られた。令和３年度から浜頓別高校に遠距離通学している生徒を対象に、路線バスの終点となる中頓別バスターミナルまで送迎を実施した。 ◇令和５年度１０月から宗谷バスによる路線バスに代わり、高校通学用スクールバスの運行が始まり、安全に運行が図られたが停車中に後ろから追突される事故が1件発生している。引き続き車両修繕に係る修繕計画を立て、安全面を考慮していく必要がある。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
教育研究指定校委託事業	各学校における教育効果をより高めるため、特徴ある学校経営の活動について、研究を委託する事業である。 【研究報告】 ・研究紀要 【委託料】 <令和５年度> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円 <令和６年度> ・小学校 50,000円 ・中学校 50,000円	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。	○教育効果を高めるため学習指導のあり方等を研究することで学校全体での共有化と指導力向上に繋がった。研究の結果として「研究紀要」の報告を受けた。 ◇児童生徒の生きる力を育むため、学習に意欲的に取り組む教育のあり方を身につけるため、情報交換や研究に努めることができるよう支援をする。
中 頓 別 学 園 整 備 事 業	中頓別中学校が抱える施設の老朽化の問題を解決しつつ、こども園・小学校・中学校が連携した学校づくりを推進するため、小中学校の校舎を新築・改修により集約し義務教育学校を設置する。さらに地域と協働する全世代型の学びの拠点づくりを目指す。 <令和５年度> ・全体協議会 6回 ・中頓別学園プロジェクトチーム ・中頓別学園推進企画会議 ・自分とみんなで創る新しい学校『中頓別学園』もうすぐスタートライブ ・教職員ワークショップ・模型の旅 ・「みてよくわかる！まちの人とともにつくる人生100年学びの拠点・中頓別学園」パンフレット、アンケート配布 ・愛知県東浦町緒川小学校視察 ・安平町早来学園視察 ・根室市立花咲港小学校 ・花咲小学校視察 ・福島県大熊町「学び舎ゆめの森」視察 <令和６年度> ・中頓別学園推進企画会議 ・学校づくり授業 ・学校づくり委員会 ・人生100年の学びの場づくりセミナー ・インクルーシブ教育 ・UDLセミナー ・夢と未来の特別授業	○将来の地域と協働した運営組織づくりを視野にいれながら、学びの場で実施する事業等について協議するため中頓別学園全体協議会を設立し、6回協議を実施した。 ○園・小・中・推進室でそれぞれの部門に分かれて中頓別学園プロジェクトチームを設立し、学園の運用・校歌・ICT等について協議し情報を共有することができた。○更に推進室・園・小・中で情報共有を図るため、中頓別学園推進企画会議を実施した。○園・小・中で児童生徒全員が１年後にスタートする仮校舎（中学校）での小・中一緒の学校生活をイメージしながら、文化芸術にふれ、未来を語り合える場として、地元宗谷（稚内市）出身の兄弟シンガーソングライターSE-NOさんの力をお借りし、「自分とみんなで創る新しい学校『中頓別学園』もうすぐスタートライブ」を開催することができた。 ◇令和６年度に補助金申請（交付金・負担金）・基本実施設計の検討が入るため、内容を精査していく。また、学校教育課程や施設の使い方・建設中の小学校引っ越し等精査していく必要がある。	○中頓別学園による学びの拠点実現に向け、学校教育、図書館事業、建築、運営に係る検討事項等を細分化した部会等を通じて随時協議を進めることができた。○令和７年４月仮校舎での学校生活に向け、引っ越し作業のスケジュールや粗大ごみ等の処分検討、登下校の安全確保、スクールバス運行など多岐に渡る協議を経て調整や作業等を実施した。 ◇実施設計を元に本体工事の入札を行い事業者の決定を行った。今後の工事着工に向けて細かな日程調整や各団体の体育館使用に係る協議等を進めていく。
教職員住宅管理事業	教職員等の住宅の確保及び維持管理を実施し、居住環境の保持と改善を図る。 <令和５年度> ・小破壊修繕等 7件 <令和６年度> ・小破壊修繕等 5件	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。	○緊急を要する修理修繕については迅速に対応し、居住環境の保持と改善に努めた。 ●住宅の老朽化により損傷が進まないよう適時、修繕を行えるよう状態の把握に努める必要がある。 ◇教職員住宅の年次計画に沿って整備に努めていく。 ◇校長住宅建設について、年次計画に組み込めるよう準備を進めていく。
小 学 校 施 設 維 持 管 理 事 業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 <令和５年度> ・配膳台 1台 ・アクティブトレイ 1台 ・掃除機（体育館用・西階段用）各1台 <令和６年度> ・ワイヤレスマイク2台 ・スポットクーラー 7台 ・カーテン10枚 ・シュレッダー1台	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の入れ替えを行った。 ○学校校舎の老朽化に伴い、2階女子トイレ修繕、体育館バスケットゴールリモコン交換・バスケットゴール装置修繕、体育館遠赤外線修繕、消火器7本交換を実施した。 ◇天板交換プロジェクトに伴い、今後は毎年度末に産業課と連携して事業の継続を行っていく。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○安全安心な教育環境に必要な維持修繕と物品等の調達ができた。 ○産業課による天板交換プロジェクトの実施に伴い、机・椅子の入れ替えを行った。 ◇児童生徒にとって、地元木材の有効活用が図られるよう関係各課と協議連携を図っていく。 ◇校舎本体や設備において大規模改修が必要になってきている。中学校校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。 ◇熱中症対策としてスポットクーラーを導入することができた。今後はより良い環境が図られるよう更に使用方法の検討を行っていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
中学校施設維持管理事業	安全安心な学校運営に向けた、教育環境の維持及び学校運営に必要な消耗品・備品等の充実。 ＜令和５年度＞ ・シュレッダー１台 ・ポータブル電源１台 ＜令和６年度＞ ・スポットクーラー５台 ・扇風機５台 ・スポットライト１台	○学校校舎の老朽化に伴い、１階女子トイレ手洗い場蛍光灯LED交換、水道量水器取り換え、音楽室網戸修繕、保健室引戸錠取り換えを実施した。 ●校舎については老朽化と防寒対策のため根本的な解決が必要となっている。 ◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。	○小学校の引っ越しを見据え教室等の区画変更や使用していなかった設備の点検・復旧工事を行い引っ越しを進めることができた。◇校舎の耐震性は国土交通省基準でクリアされているため問題ないとの見解から、今後は当面校舎の防寒対策をしつつ、校舎建て替えに伴う新しい学校づくりに向けて計画的に整備を進める。◇熱中症対策としてスポットクーラーを導入することができた。今後はより良い環境が図られるよう更に使用方法の検討を行っていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１） 幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
小学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 ＜令和５年度＞ ・バスマスター１台 ・ガスコンロ ７台 ・フラッシュＥＰＦ１個 ＜令和６年度＞ ・パーテーション４台 ・生徒用図書 必要数 ・教師用指導書 必要数	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の整備と充実を図る。
中学校教育振興事業	教育効果の向上にむけた必要な教育教材等の整備。 ＜令和５年度＞ ・家庭科用ミシン ５台 ・ベルトディスクサンダー １台 ・充電式インパクトドライバー １台 ＜令和６年度＞ ・電動ミシン ３台 ・生徒用図書 必要数 ・両面脚付きホワイトボード １台	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。	○教育効果の向上に向けて必要最低限な教材等の整備が図られ、教育効果の向上に繋がった。 ◇今後においても学校との連携を密にして、教育効果の向上が図られるよう、優先順位の高い教材等の充実を図る。
児童生徒健康診断委託事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【小学生】 R5 R6 内科検診（全学年） 57名 54名 結核検診（全学年） 57名 54名 心臓検診（小１年） 11名 11名 心臓検診（小４年） 5名 12名 歯科検診（全学年） 57名 54名 尿検査（全学年） 57名 54名 【中学生】 内科検診（全学年） 28名 32名 結核検診（全学年） 28名 32名 心臓検診（中１年） 16名 12名 尿検査（全学年） 24名 33名	○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。各学校でフッ化物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危惧されていることから、こどもの身体への関心を高め、生活を振り返ることを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。保健師による小学校児童向けの生活予防習慣病健診についての事前説明を実施した。 ◇学校保健担当者会議において小中学校から挙げた要望に対し、保健福祉課・病院と連携しながら、内容の改善を図った。 ◇学校保健担当者会議において小中学校から挙げた要望に対し、保健福祉課・病院と連携しながら、内容の改善を図った。	○児童生徒に係る健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられており、健康診断の実施により、疾病の予防や早期発見に寄与した。各学校でフッ化物洗口を実施することができた。 ○生活習慣病の低年齢化が危惧されていることから、こどもの身体への関心を高め、生活を振り返ることを目的として、小児生活習慣病予防検診を実施した。保健師による小学校児童向けの生活予防習慣病健診についての事前説明を実施した。 ◇学校保健担当者会議において小中学校から挙げた要望に対し、保健福祉課・病院と連携しながら、内容の改善を図った。 ●今年度は中学校生徒１名、日程調整ができず受診を辞退した生徒がいた。学校と家庭、関係機関との関係を更に密にし、全員がきちんと受診を終えられるよう調整をしていく必要がある。
へき地児童生徒巡回検診事業	児童生徒の健康の保持増進及び病気の早期発見につなげていくことを目的として、児童生徒の健康診断を実施する事業である。 【検診内容】 ＜令和５年度＞ ・脊柱側弯症検診（毎年実施） ・眼科検診 ＜令和６年度＞ ・脊柱側弯症検診（毎年実施） ・耳鼻科検診	○眼科検診の事務局を務め、適切に事業を終えることができた。脊柱側弯症検診については受診対象者なし。 ◇次年度の耳鼻科検診においては、事務局として各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、３年に１度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。 ※今後の予定 ・令和６年度 脊柱側弯症検診 ・耳鼻科検診	○耳鼻科検診の事務局を務め、適切に事業を終えることができた。脊柱側弯症検診については１名の生徒が対象となり、受診を行った。 ◇次年度は耳鼻科検診、眼科検診の実施は無し。次回は令和８年度に眼科検診を予定。各町と連携して事業を進める。 ◇専門医の確保が困難なへき地であるため、３年に１度ではあるが専門医による検診が必要であり、今後も継続していく。 ※今後の予定 ・令和７年度 脊柱側弯症検診
教職員健康診断事業（人間ドック）	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 ＜令和６年度＞ ・５４歳以下ドック受診者 小学校 ２名 中学校 ５名 ＜令和７年度＞ ・５４歳以下ドック受診者 小学校 ２名 中学校 ４名	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ○公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されるとは限らないが、今年度は５５歳以上も含め８名が受けることができた。 ●受診忘れなどがあったため、次年度は受診が完了したかどうかの呼びかけを行う。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。	○教職員の健康の保持増進に資する事業であり疾病の予防・早期発見に寄与した。 ○公立学校共済としての枠があるため、人間ドックを希望しても必ず決定されるとは限らないが、今年度は５５歳以上も含め７名が受けることができた。 ●１名受診辞退があったが、受診忘れ等なく、無事に受診が完了した。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、今後も教職員の健康の保持増進に努める。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

②自ら学びの力を育てる学校教育の充実		令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和６年度 ○成果●課題◇今後の方向性
施策項目	取り組み概要		
教職員健康診断委託事業	学校における職員の健康の保持増進を図り、病気の早期発見に資するため、職員の健康診断を実施する事業である。 【受診者数】 R5 R6 ・小学校 9名 14名 ・中学校 6名 8名	○人間ドック受診者以外の辞退者を除く教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。	○人間ドック受診者以外の辞退者を除く教職員全員が検診を受診することができた。 ◇教職員の健康診断は、学校保健安全法により学校の設置者に義務付けられているものであり、教職員の健康の保持増進のためにも継続していく。
就学児健康診断委託事業	就学予定者の状況を把握し、保健上必要な助言や適正な就学についての指導等を行うため、健康診断を行う事業である。 【検診内容】 ・内科検診 ・歯科検診 【受診者数】 R5 R6 ・受診者 13名 8名	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。 ◇保健福祉課と連携し、町外の歯科医師による歯科検診を実施した。	○学校保健安全法に基づく健康診断であり、内科検診と歯科検診を実施した。 ◇就学予定者の心身の健康状態を把握することで個々に応じた適正な就学が図れるため、今後も継続していく。 ◇保健福祉課と連携し、町外の歯科医師による歯科検診を実施した。
就学奨励事業	経済的な理由等によって就学が困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して、義務教育の円滑な実施に資することを目的とし、必要な援助を行う事業である。 【対象者数】 R5 R6 ・新規者 1名 1名 ・継続者 9名 6名	○新規者1名、継続者9名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけるよう、引き続きわかりやすい内容で周知徹底をしていく。	○新規者1名、継続者6名が就学援助制度を利用された。低所得者世帯の経済的負担を軽減することができた。 ◇低所得世帯者の経済的負担を軽減するためにも、この制度を利用していただけるよう、引き続きわかりやすい内容で周知徹底をしていく。
全国学力学習状況調査事務事業	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として調査を実施する。 【調査対象者】 R5 R6 小学校6年生 13人 7人 中学校3年生 5人 5人	○児童生徒の学力及び生活習慣との関連性も把握ができ、今後の学習指導に役立てることができた。小学校は国語・算数ともに全国平均以上の学力水準がみられた。中学校の数学では全国平均以上の学力水準がみられた。 ●担任・教科担当のみの課題とし、授業改善と支援策を構築する必要がある。 ●児童生徒数が少ないと平均値もその年ごとに大きな幅や波がみられ継続的なデータとしては分析しづらい面もある。データの分析によりどんな設問に躓いているか洗い出し、児童生徒一人ひとりの学力の底上げを目指していく。 ◇平均正答率を上げることだけに意識を向けるのではなく、社会で自立するために必要な学力を確実に身に付けさせる取組みを、学校、家庭、地域が一体となって進める必要がある。	○児童生徒の学力調査により、結果の分析と改善策の検討を行うことができた。小学校は国語・算数ともに全国平均を僅かに下回る結果となった。中学校の国語では全国平均以上の学力水準が見られた。 ●誤回答となった問題の傾向を分析し、授業改善に向けた取り組みを学校全体で行っていく必要がある。 ○学力水準の引き上げに偏らず、児童生徒一人ひとりの個性や適応力を把握し、地域との繋がりがりや小中学校統合による特性の中から学ぶ社会性の習得や精神面の成長を育んでいく。
学校体育連盟運営事業	町内中学校生徒の身体並びにスポーツ技術の向上、管内中学生との交流と親睦を図ることを目的として、中頓別町学校体育連盟に補助金を交付する事業である。 【補助金】 ＜令和５年度＞ ・補助金 323,000円 ＜令和６年度＞ ・補助金 223,000円	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、スキー競技２名、剣道競技２名が全道大会に、卓球競技１名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。	○スポーツを通して身体並びに、技能の向上が図られた。また、スキー競技２名、剣道競技２名が全道大会に、卓球競技１名が北海道選手権大会に出場することができた。 ●生徒数の減少に伴い、参加できる大会や種目が限られてきている。 ◇生徒の体力やスポーツ技術の向上に向けた部活動等の活性化が図られるよう支援する。
中頓別町教育研究会運営事業	中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営計画に則り、各校教育課程の改善、充実を図るため、町教育研究会に補助する事業である。 【補助金】 ＜平成５年度＞ ・補助金 262,000円 【令和５年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開 ＜令和６年度＞ ・補助金 262,000円 【令和６年度活動状況】 ・小中連携委員会の開催 ・管内教育研究大会 ・小中交流授業公開	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○一斉活動日を設定して、年４回のサークル活動を実施した。中頓別町・浜頓別町教育研究大会では、会場校として、授業公開・協議の運営にあたった。２町のみならず、３町村からも参加者がおり、小中あわせて約７０名の参加があった。小中連携の推進については、小中の研修連携を重点とし、外部講師の招聘による積極的な研修・授業改革を町研がサポートし、教職員の学ぶ機会を保障することができた。 ◇小中連携の推進については、次年度も小中の接続を意識した研修連携を行っていく。「中頓別学園」の設立に向け、小中連携委員会を「学校づくり委員会」とし、学校づくり推進室と連携を取り、こども園・小学校・中学校の職員で活動を行っていく。	○昨年度と同様「地域に根ざし、人間性豊かな児童・生徒を育てる教育を創造する」を研究主題として、本町の地域性を踏まえた教育活動の研究により学校教育の充実に繋がった。 ○一斉活動日を設定して、年４回のサークル活動を実施した。浜頓別町教育研究会との協働は13年目を迎え、合同町研サークル活動、合同教育研究大会、合同実技研修の企画・運営等、益々の連携強化を進めた。小中連携の推進については、小中の研修連携を重点とし、外部講師の招聘による積極的な研修・授業改革を町研がサポートし、教職員の学ぶ機会を保障することができた。 ◇小中連携委員会を「学校づくり委員会」とし、学校づくり推進室と連携を取り、こども園・小学校・中学校の連携強化を図った。令和８年度の中頓別学園開校に向け、引き続き活動を行っていく。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（１）幼小中を通して生きる力を育むまちづくり

②自ら学び自ら考える力を育てる学校教育の充実

施策項目	取り組み概要	令和5年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性
中 頓 別 町 特 別 支 援 教 育 連 携 協 議 会 運 営 事 業	発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、関係機関が横断的に連携し、就学前から就学後及び卒業後の就労を含めた継続的、総合的な支援体制のあり方等を検討することを目的に補助金を交付する事業である。 【令和5年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 ・年2回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom開催） ○特別支援コーディネーター ・特別支援担当者によるこども園 ・小学校 ・中学校視察 【令和6年度活動状況】 ○連携協議会総会の開催（書面開催） ・年1回 ○連携協議会役員会の開催 ・年3回 ○情報交換会 ○講演会（Zoom開催） ○特別支援コーディネーター ・特別支援担当者によるこども園 ・小学校 ・中学校視察	○情報交換会の開催○各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ○中頓別町PTA連合会と宗谷管内PTA連合会の共催で、株式会社チャックスファミリーCS推進マネージャーの高坂麻紀氏を講師に「自発的で積極的な子どもを育てるには ～輝くキャストに成長する仕組み～」というテーマで講演会が行われた。こども園・小・中学校の教職員・保護者を中心に40名ほどが参加した。 ○学校・こども園視察では、小・中学校の特別支援コーディネーターを中心に視察が行われ、情報交換会で共有した子どもの実態の把握と教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ○特支援助費から、発達検査テスト用紙を購入した。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。	○情報交換会の開催○各関係機関から現状と今後の課題等について報告と交流を実施した。 ○中頓別町PTA連合会と宗谷管内PTA連合会の共催で、木村玄司氏を講師に「子どもが自分から頑張ろうとするための3つのポイント」というテーマで講演会が行われた。こども園・小・中学校の教職員・保護者を中心に20名ほどが参加した。 ○学校・こども園視察では、小・中学校の特別支援コーディネーターを中心に視察が行われ、情報交換会で共有した子どもの実態の把握と教育支援会議に向けた情報共有が行われた。 ◇町としての障がい者福祉の在り方について、検討していく必要がある。
就 学 支 援 委 員 会 事 務 事 業	心身に障害のある児童生徒等の就学の適正を図るため、就学指導委員会を開催し、教育長の指定する事項について審議を行うものである。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ○教育支援委員会に限らず、認定こども園が主体となった子ども支援ネットワーク会議においても、認定こども園・小中学校・保健福祉課・教育委員会で情報共有を図り、より長期的な視点からきめ細やかで具体的な支援の内容について検討をすることができた。 ◇知能検査の検査レベルの見直しを図ったほか、新たに言語検査を行った。	○支援が必要な児童生徒の適切な就学に向けて審議を行った。 ○教育支援委員会に限らず、認定こども園が主体となった子ども支援ネットワーク会議においても、認定こども園・小中学校・保健福祉課・教育委員会で情報共有を図り、より長期的な視点からきめ細やかで具体的な支援の内容について検討をすることができた。 ○知能検査の検査レベルの見直しを図ったほか、新たに言語検査を行った。
中 頓 別 町 育 英 会 事 務 事 業	経済的事由により就学が困難な学生、生徒に対して学資を貸与する事業である。 <令和5年度> ・新規貸与者 0名 ・継続貸与者 2名 <令和6年度> ・新規貸与者 0名 ・継続貸与者 1名	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。2名に学資を継続貸与した。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった家庭もあり、返済が滞っているが、返済する意思については確済みである。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。	○経済的な不安が軽減され、就学機会の確保が図られた。1名に学資を継続貸与した。 ●滞納者については、数回にわたり償還状況の確認を行い返済計画について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響で収入減となった家庭もあり、返済が滞っているが、返済する意思については確済みである。 ◇今後も継続して、滞納者から償還計画を提出してもらい、確実に確約がとれるよう進めていく。 ◇新規貸与者の貸与に当たっては、返済の義務と計画性について明確に伝えるようにしている。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 （２）子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ①自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進

①自分らしい生き方を実現するキャリア教育の推進		令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和６年度 ○成果●課題◇今後の方向性
施策項目	取り組み概要		
放課後児童健全育成事業	保護者の就労形態により、昼間家庭にいない子どもを対象として、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。 【入所人員】 R 5 R 6 ・1年生 10名 11名 ・2年生 8名 9名 ・3年生 11名 8名 ・4年生 4名 12名 ・5年生 7名 2名 ・6年生 8名 6名 合 計 48名 48名	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の1つとして確立されてきている。 ●専門職員は配置し、支援員を中心に各種プログラムの展開を図っている。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、地域指導者との連携を図り、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。	○平成28年度から、教育委員会と保健福祉課が連携を図り、一体的に実施する総合的な放課後対策「放課後子どもプラン」を推進している。町の児童の放課後の過ごし方の選択肢の1つとして確立されてきている。 ●専門職員は配置し、支援員を中心に各種プログラムの展開を図っている。 ◇年齢層に応じたプログラムを展開し、地域指導者との連携を図り、対象児童の活動内容の充実を図る必要がある。
あいさつ子育て推進協議会運営補助事業	子どもの健全育成を願い、学校・父母・地域住民が共同して活動をする。 【事業内容】 ・子育て看板の設置 ・商工会街頭放送 ・祭典パレードでの参加協力 ・三行詩の取組み（町P連と連携） ・啓発チラシ等の更新 ・教育講演会への支援協力	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○管内PTA連合会研修会の開催 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中頓別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的な事業の展開を図る。	○関係機関との連携により子育て啓発活動の推進が図られた。 ○管内PTA連合会研修会の開催 ◇本事業は町P連と連携した事業であることから、令和2年度より中頓別町学校PTA連合会に一本化した補助金として、より有意義・効果的な事業の展開を図る。
学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子どもプラン」「家庭教育支援」の取り組みを有機的に組み合わせ、より充実した教育支援活動を推進する。 【事業実績】 ○学校支援地域本部事業 ・総合的な学習への支援 ○放課後子どもプラン事業 ・放課後の居場所づくり ○家庭教育支援事業 ・家庭教育講演会の開催	○学校授業、放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き、多くの活動を進めることができた。小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園とも担当者間で連携を取る体制が取られ事業が進められた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから8年が経過。従来の学年別活動、縦割り活動のほか、児童の意志で選択できる自由活動と、メニューも充実が見られる。例年通り親子水泳教室、親子スキー教室を実施。また、スキーワックスがけ事業についてはこども園園児、小学校低学年を対象に実施した。こども園では人権教室、茶道サークルによるお茶会が実施され、家庭教育分野もより一層充実した。（実績については別紙資料1「令和5年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。	○学校授業、放課後において、地域住民の方々や、他市町村の方々に関わって頂き、多くの活動を進めることができた。小中学校ともコーディネーターとの定期打合せも継続実施、こども園とも担当者間で連携を取る体制が取られ事業が進められた。 教育委員会と保健福祉課が連携し進めている「放課後子どもプラン」はスタートから9年が経過。従来の学年別活動、縦割り活動のほか、児童の意志で選択できる自由活動と、メニューも充実が見られる。例年通り親子水泳教室、親子スキー教室を実施。また、スキーワックスがけ事業についてはこども園園児、小学校低学年を対象に実施した。こども園では人権教室、茶道サークルによるお茶会が実施され、家庭教育分野もより一層充実した。（実績については別紙資料1「令和6年度 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動 実績報告」を参照） ◇放課後児童支援員認定資格取得者増を検討していきたい。
生徒指導連絡協議会運営補助事業	幼児・児童生徒の健全育成、安全指導を関係機関との連携協調を持って、総合的に行う。 【事業内容】 ・総会定例会の開催 ・長期休業中の過ごし方の作成と配布 ・祭典巡視 ・教育講演会への支援協力 【補助金】 <令和5年度> ・補助金 150,000円 <令和6年度> ・補助金 150,000円	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ○管内PTA連合会研修会との共催 ●対面での会議の開催し、関係団体や組織との連携をさらに深める必要がある◇関係団体や組織の構成員について、構成員が同じため、共催や事業の見直しなど内容の深い取り組みとなるよう展開が必要である。	○長期休業期間中における各種啓発活動の実施により関係機関と連携を図り、相互情報交換をしながら幼児・児童・生徒の健全育成が図られている。 ○管内PTA連合会研修会との共催 ●対面での会議の開催し、関係団体や組織との連携をさらに深める必要がある◇関係団体や組織の構成員について、構成員が同じため、共催や事業の見直しなど内容の深い取り組みとなるよう展開が必要である。
各種少年教育事業	教育活動の一環として、小中学生に広く親子、地域住民とのふれあいの機会を提供し、地域全体で子どもの健全育成を図る。 【事業内容】 <令和5年度> ○管内PTA連絡協議会研修会への支援 <令和6年度> ○管内PTA連絡協議会研修会への支援	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室・大会としては、放課後子どもプランの児童を対象に開催を予定したが、指導者との日程が調整できず開催に至らなかった。 ○今年度は中頓別町子育て講演会を町P連、生指連、管内P連と共催で講演会の開催。 ●各関係団体や組織との連携を強化し、より効果ある事業の展開が課題である。 ◇ここ数年カルタ教室・大会が開催できておらず、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため、指導者の確保育成を含め、放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。	○各学校で工夫を凝らし、保護者や地域の方々との交流やふれあいが図られる事業の展開が図られている。 ○カルタ教室・大会としては、放課後子どもプランの児童を対象に開催を予定したが、指導者との日程が調整できず開催に至らなかった。 ○今年度は中頓別町子育て講演会を町P連、生指連、管内P連と共催で講演会の開催。 ●各関係団体や組織との連携を強化し、より効果ある事業の展開が課題である。 ◇ここ数年カルタ教室・大会が開催できておらず、カルタの読み方がわからない小学生が増えているため、指導者の確保育成を含め、放課後子どもプラン等で練習する仕組みを整えていきたい。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずればまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ②特色ある教育活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和5年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性
外国青年招致事業	外国語教育の充実や外国の文化にふれることによる国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する事業である。 【外国語活動】 ○こども館 ・絵本読み聞かせ ・コミュニケーション ○小学校 ・ウェルカム教室(国際理解) ・コミュニケーション英語 ○中学校 ・外国語授業 ○放課後子どもプラン ・英語タイム 【英会話教室】 ・金曜日 11:00～12:00	○外国語指導助手は2名体制で、令和3年度より外国語指導助手1名を中学校に常駐させている。 ○小学校5・6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施した。 ○隔週金曜日に英会話教室を実施し、町民と交流を深めた。	○現在外国語指導助手は2名体制としており、令和3年度よりは1名を中学校に常駐させている。令和6年度はJETプログラム参加者1名の入れ替えがあった。 ○小学校5・6年生の英語授業70時間、3・4年生の外国語活動35時間、1・2年生の外国語活動20時間を実施。また、放課後子どもプランでは隔週火曜日に英語タイムを設け、参加児童と英語を用い交流を深めている。 ○隔週金曜日実施の英会話教室は7月まで実施し、町民と交流を深めた。
英会話教室運営事業	ALT（英語指導助手）による英会話教室を開催し、英会話力の向上及び異文化交流を深める。 毎週 金曜日 10:30～12:00 町民センター第1研修室 <令和5年度> 英会話教室登録者数4名 <令和6年度> 英会話教室登録者数0名 (ALTが変わり実施していない)	○ALT（英語指導助手）と異文化交流ができる機会として、参加者が有意義となるような一般向けの教室の定期開催ができた。学校授業の外、認定こども園での取り組み、こどもプランでの英会話教室など、継続して実施した。 ●一般向け英会話教室を実施しているが、参加者数も増えず、それを生かせる場がない。 ◇学校授業やこども園、こどもプランのほか、多様な活動の場の提供を図っていく。	○校授業の外、認定こども園での取り組み、こどもプランでの英会話教室など、継続して実施した。 ●ALTが変わり、一般向け英会話教室を実施できていない。 ◇学校授業やこども園、こどもプランのほか、多様な活動の場の提供を図っていく。
夢と希望を！感動体験事業	平成28年度から、次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的に、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、学校単位や、子ども育成会、分団活動、スポーツ少年団活動等において取り組む各種体験活動に補助金を支出する。 <令和5年度> ・中学校本物感動体験！修学旅行事業347千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー148千円 <令和6年度> ・中学校本物感動体験！修学旅行事業347千円 ・総合的な学習の時間「自然体験学習」66千円 ・中学校宿泊学習補助8千円 ・スキーの魅力満喫体験ツアー143千円	○プロ野球観戦ツアーを開催し小中高生12名の参加があり、エスコンフィールドへ日本ハムファイターズの応援観戦を行った。プロバスケット観戦については中高生17名での観戦ツアーを予定していたが、吹雪による交通障害により、観戦することができなかった。 ●観戦する時期や内容を検討する。年間に2事業の実施（バスケット、サッカー、野球） ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ピヤシリスキー場が続いているが、関係団体と協議し、場所等について検討する。	○プロ野球観戦ツアーを開催し小中高生11名の参加があり、エスコンフィールドへ日本ハムファイターズの応援観戦を行った。プロバスケット観戦については中高生20名での観戦ツアーを開催し、レバンガ北海道の応援観戦を行った。 ●観戦する時期や内容を検討する。年間に2事業の実施（バスケット、サッカー、野球） ◇スキーツアーの場所に関しては、近年名寄ピヤシリスキー場が続いているが、関係団体と協議し、場所等について検討する。
なかとんべつ子ども読書プラン事業	子どもがたくさんの本と出会う機会を保障し、そのために必要な環境を計画的に整備することを目的に平成22年に「中頓別町子ども読書プラン」を策定し、絵本の読み聞かせなどの活動を推進している。 【事業内容】 <令和5年度> ・推進会議ブックスタート 5/18 8/17 11/16 2/15 ・読み聞かせ 6/20 7/7 10/11 12/11 1/29 3/27 <令和6年度> ・推進会議 ・ブックスタート 5/16 8/22 11/14 2/13 ・読み聞かせ 5/2 6/20 7/11 9/10 9/12 11/7 12/12 2/6 3/12 3/18 ・子どもプラン図書まつり 7/26	○図書ボランティアの人数が減少してきているが、読書活動は積極的に活動され、様々な工夫を凝らして、読み聞かせ活動や図書の整理など取り組みを行っている。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながら、ブックスタートや図書室及び学校図書室の推進を図る。	○図書ボランティアの人数が減少してきているが、読書活動は積極的に活動され、様々な工夫を凝らして、読み聞かせ活動や図書の整理など取り組みを行っている。 ◇引き続き読書ボランティアの活動を支援しながら、ブックスタートや図書室及び学校図書室の推進を図る。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (2) 子どもたちがいずれはまちに戻りたいと思える気持ちを育むまちづくり
 ②特色ある教育活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和5年度	令和6年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
学校給食事業	給食は、児童・生徒に望ましい食事に関する経験をかさねさせ、心身の健全な発達に寄与することを目的に、児童・生徒に給食を一日一回提供する。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ●学校給食センターの老朽化に伴う施設改修が必要となってきた。 ○家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。	○米飯給食を基本とし、郷土料理や行事食、7・12月にはリザーブ給食を実施し、新メニューの提供に努めるとともに、栄養価の向上や特色ある給食づくりに取り組んだ。 ◇中頓別学園の建設事業の中で、老朽化した給食センターの施設改修を計画に盛り込むことができた。○家計への配慮及び安心して子育てができる環境整備に向け、学校給食費の保護者負担をなくし、全額補助とした。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (3) 大人も一緒に学べるまちづくり
 ①生涯教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和5年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和6年度 ○成果●課題◇今後の方向性
成人式運営事業	成人を迎える若人が郷土愛や仲間意識を高め、成人となることの意義を考え、社会人としての責務や役割を十分認識し、更なる飛躍を期待する。 【事業内容】 <令和5年度> ・成人式 1月7日（日） 該当者17名、出席者14名 20歳のオリジナル図書父母への感謝の言葉父母からのお祝いの言葉小中学校恩師からのメッセージ ・ビデオレター放課後子どもプランからしおり ・コースター記念公演「和太鼓団 雪峯」 記念ビデオ贈呈 <令和6年度> ・成人式 1月12日（日） 該当者11名、出席者7名 20歳のオリジナル図書父母への感謝の言葉父母からのお祝いの言葉小中学校恩師からのメッセージ ・ビデオレター放課後子どもプランからしおり ・コースター記念公演「和太鼓団 雪峯」 記念ビデオ贈呈	○父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。記念品として、20歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。放課後子どもプランで取り組んだメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして送った。後日新成人から児童への感謝の品物を用意し渡した。和太鼓団「雪峯」による記念公演の実施。今年度から町民センターにて開催。 ●記念品について、後日の配布となってしまう、式の当日に渡せるよう取り組みが必要である。 ◇中頓別学園の建設に伴い、思い出となるイベントも考慮し開催する。	○父母から成人者へ、成人者ら父母への感謝の気持ちを手紙で伝えることができた。記念品として、20歳のオリジナル図書を選書し、新成人が好きな本を選んでもらうようにした。放課後子どもプランで取り組んだメッセージ入りコースターを成人者のプレゼントとして送った。後日新成人から児童への感謝の品物を用意し渡した。和太鼓団「雪峯」による記念公演の実施。今年度から町民センターにて開催。 ●小・中学校に当時のビデオがあれば、式の当日写真コーナーにて流せるので小・中学校にあれば借用する。 ◇中頓別学園の建設に伴い、思い出となるイベントも考慮し開催する。
高齢者いきいき教室運営事業	これまで学校形式「寿大学」から講座形式に工夫。高齢者が時代に合った社会的能力を高めるため、健康増進、教養の向上、交流など生きがいのある充実した生活を創造していくための計画的な学習の機会を提供し、自ら活動するサークル活動を支援していく。 <令和5年度> ・各種サークル活動 ・町民センター避難訓練 ・文化塾への参加 ・リフレッシュ研修旅行 <令和6年度> ・各種サークル活動 ・町民センター避難訓練 ・文化塾への参加 ・リフレッシュ研修旅行	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ○中頓別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ○コロナ感染症で開催できなかったリフレッシュ研修旅行の開催（層雲峡方面、8名の参加） 引率：職員2名 ●リフレッシュ研修旅行の継続と社会教育事業への積極的参加を促す取り組みが必要。	○パソコンサークルは定着し、少人数ながら継続して実施ができた。 ○中頓別文化塾などの講演会に参加してもらった。 ○リフレッシュ研修旅行の開催（登別方面、8名の参加） 引率：職員2名 ●リフレッシュ研修旅行の継続と社会教育事業への積極的参加を促す取り組みが必要。
社会教育委員会運営事業	社会教育委員は、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するための職務を行う。 【事業内容】 <令和5年度> ・社会教育委員会議 第1回 4月24日 第2回 10月24日 第3回 12月19日 第4回 3月26日 <令和6年度> ・社会教育委員会議 第1回 4月22日 第2回 10月8日 第3回 3月21日	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇各委員の研修会等への参加が可能な体制づくりが必要。	○社会教育事業の節目ごとに会議を開催し、事業内容の審議を行ってきた。年間活動を総括する会議を開催することができた。 ●管内道内の社会教育委員研修会に参加する方が、仕事を理由に少なくなっている。 ◇各委員の研修会等への参加が可能な体制づくりが必要。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（３）大人も一緒に学べるまちづくり

①生涯教育の推進

施策項目	取り組み概要	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和６年度 ○成果●課題◇今後の方向性
各種研修派遣事業	団体やサークルが自主的に活躍するため、各種研修会や会議に派遣し団体やサークルの指導者を養成し、継続的な活動を推進する。また、自主的な生涯学習活動やまちづくり活動を図れるよう個人指導者や団体やサークルの育成を推進する。 <令和５年度> なし <令和６年度> なし	●継続的に各種リーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事等の研修会へ積極的に参加しスキルアップ、情報収集、近隣市町村との連携をはかることが必要である。	●継続的に各種リーダー養成事業への案内はしているが、派遣には至っていない。 ◇社会教育主事等の研修会へ積極的に参加しスキルアップ、情報収集、近隣市町村との連携をはかることが必要である。
車両維持管理事業	社会教育事業推進のため使用する車両の維持管理を行う。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。	○社会教育領域及び学校教育において有効に活用されてきた。 ◇スポーツ巡回バスやワゴンの更新を検討しつつ、車両が故障した際には早急に修理する。 ◇文化・スポーツ振興のため、各団体、サークルでの有効活用に支障をきたさないよう、適切な維持管理に努める。
管内生涯教育推進協議会運営負担事業	管内の生涯学習推進関係者や社会教育関係者等がその実践や研究協議を開催し、管内の生涯学習情報の収集と生涯学習関係者の資質の向上を図る。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や宗谷教育局社会教育指導班と連携し、オンラインでの研修会を開催した。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。	○管内の生涯学習状況の把握と連携を図るため、社会教育主事会や宗谷教育局社会教育指導班と連携し、オンラインでの研修会を開催した。 ◇継続して積極的に各種会議・研修会への参加派遣を図るとともに、近隣市町村との密な関係を構築し連携する。
町民センター運営維持管理事業	地域住民のコミュニティ活動の拠点として施設の維持管理運営を行い、地域活動や生涯学習・まちづくり活動、各種団体サークル等の活動支援を図る。 別紙「利用状況」を参照	○施設の老朽化が進み、地域住民の活動の拠点としては使用しにくくなっているが、小破修繕等対応している。 ●中頓別学園と町民センターの複合施設が完成するまでの応急的修繕整備で対応する。 ◇常勤体制の管理人が１名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。	○施設の老朽化が進み、地域住民の活動の拠点としては使用しにくくなっているが、小破修繕等対応している。 ●中頓別学園と町民センターの複合施設が完成するまでの応急的修繕整備で対応する。 ◇常勤体制の管理人が１名のため、急務などがあれば、職員が対応しなければならないことがあるため、管理人と密に連携を図る。
郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業	本町開拓の歴史的経過と先人の事業を知り後世に伝えるため、郷土に関する資料の保存と展示をしている。健康で文化的な生活を築くために柔剣道場及び図書室、研修室を活用し、青少年の健全育成を図る。 ○柔剣道場利用団体剣道少年団、柔道少年団 ○研修室利用団体絵手紙サークル等 別紙「利用状況」を参照	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●しばらく展示内容も変更していないため、学芸員による専門的見地から展示方法について検討する必要がある。 ◇資料館の展示について、専門家の意見をいただきながら、今後の展示の仕方について検討する。	○図書室の運営では図書ボランティアの協力で、購入図書の選書や図書まつり、本の読み聞かせなど活用促進のための活動を実施した。 ●しばらく展示内容も変更していないため、学芸員による専門的見地から展示方法について検討する必要がある。 ◇資料館の展示について、専門家の意見をいただきながら、今後の展示の仕方について検討する。
創作活動施設運営管理事業	中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体サークルの創作活動の拠点として積極的な活用を図る。 別紙「利用状況」を参照	○陶芸サークルの利活用 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができています。 ●陶芸サークル、カヌー置き場としての活用のみで、今後、活用方法を検討する必要がある。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。	○陶芸サークルの利活用 ○中頓別派出所の社屋建て替えのため創作活動施設を利用しており、子どもたちの見守りの強化ができています。 ●陶芸サークル、カヌー置き場としての活用のみで、今後、活用方法を検討する必要がある。 ◇利用状況に応じた施設の維持管理方法を改めて検討する。
多目的集会施設維持管理事業	小頓別地区住民のコミュニティ活動の場として活用され、施設の維持管理を地域自治会に委託している。 <令和５年度> 委託料 120,000円 <令和６年度> 委託料 120,000円 別紙「利用状況」を参照	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。	○在所する集落支援員が退職され、施設の細かな清掃や破損など対応が困難となっている。 ◇施設管理を委託している自治会や地域住民の協力を得ながら清掃管理を進め、計画的な施設整備を図ることが必要である。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性
 (3) 大人も一緒に学べるまちづくり
 ②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和5年度	令和6年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
社会体育推進事業	各スポーツ団体等の活動を支援し、スポーツ振興と活性化、健康づくりを図ることを目指す。 【事業内容】 ・スポーツ巡回車(26人乗り)の維持管理 ・スポーツ安全保険、レクレーション保険の手続き等 ＜令和5年度＞ ・モルック 5組 ＜令和6年度＞ ・モルック 5組	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 ●スキー用品のリサイクルを継続していたが再利用できない用具が多く、次の人へと引き渡す際の整備や古いスキーの処分が必要となるため、取りやめとした。 ◇老朽化が著しい体育館であるが、修繕や備品などの計画的に整備を図る。	○体育館備品など貸し出し用の用具を計画的に更新した。 ●スキー用品のリサイクルを継続していたが再利用できない用具が多く、次の人へと引き渡す際の整備や古いスキーの処分が必要となるため、取りやめとした。 ◇老朽化が著しい体育館であるが、修繕や備品などの計画的に整備を図る。
スポーツ推進委員会運営事業	スポーツの推進のため、住民に対しスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。 【事業内容】 スポーツ推進委員会の開催 ＜令和5年度＞ 第1回 4月20日 第2回 6月27日 第3回 12月7日 第4回 2月15日 第5回 3月25日 ＜令和6年度＞ 第1回 4月25日 第2回 7月5日 第3回 2月15日 第4回 3月26日	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ○委員長の全国表彰に係る事務作業→40年勤続表彰 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。各年齢層の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に事業の運営に積極的に参画できるよう配慮する。	○スポーツ推進委員会議での意見交換やアドバイスにより、町民のスポーツ活動の活性化に向け、積極的にスポーツの推進役として活動することができた。また、スポーツ推進委員に多くの行事にお手伝いいただき行事を成功することができた。 ◇町民の健康増進・維持に向けたさらなる取り組みを検討する。各年齢層の委員を追加委嘱できるよう計画的な育成を行う。また、スポーツ推進委員に事業の運営に積極的に参画できるよう配慮する。
町民各種スポーツ大会等運営事業	各種スポーツ大会等を通して、本町のスポーツの推進を図り、町民の健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 ＜令和5年度＞ (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 5月28日 18名 ・町民ソフトボール大会 6月25日 5チーム6名 ・ブルフェスタ 8月20日 7名 ・第44回町民駅伝大会 9月3日(日) 全11チーム(後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日(スポーツの日記念大会) ・町民健康マラソン大会 10月10日 42名 ＜令和6年度＞ (主催) ・町長杯パークゴルフ大会 5月26日 13名 ・町民ソフトボール大会 7月7日 4チーム48名 ・ブルフェスタ 8月24日 7名 ・第45回町民駅伝大会 9月1日(日) 全8チーム(後援) ・夏休みラジオ体操会 7月26日～8月4日(スポーツの日記念大会) ・町民健康マラソン大会 10月12日 43名	○各種スポーツ大会等の開催をととして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者については減少傾向にあるが、引き続き周知を強化していく。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で行事を中止してしまった事業の再開について、以前のようなスポーツ活動に戻すには時間がかかる。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。	○各種スポーツ大会等の開催をととして、町民の健康・体力づくり、交流を図ることができた。また、スポーツの日記念スポーツ大会を関係競技団体と連携して開催をした。 ○各種スポーツ大会の参加者については減少傾向にあるが、引き続き周知を強化していく。 ●例年参加者が減少しているため、内容や周知方法を検討する必要がある。 ◇さらに、各団体による大会開催に係る支援に向けた調整を進める。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（３）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
冬季スポーツ教室等運営事業	冬季スポーツを通して、運動不足の解消、健康増進と体力向上を図る。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ・一般スキー教室 １月21日、22日、28日、29日、2月4日、5日29名 ・ジュニアアルペン教室 １月14日、15日 10名 ・スノーボード教室 １月20日、21日 8名 ・歩くスキー教室 ２月4日、11日、18日、25日 6名 ・キッズスキー教室（こども園）1月16日、18日、20日、23日延12名 ・寿ジュニアスキー大会2月4日幼児1名 小学生16名 中学生2名 ・町民スノーフェスティバル3月3日スキー幼児2名 小学生25名中学生3名 一般7名 スノーボード小学生9名 中学生2名 一般5名 歩くスキー 9名 ビニール滑り約50名 的入れ 約60名 宝探し約150名 ＜令和６年度＞ ・一般スキー教室 １月18日、19日、26日、2月1日、2日18名 ・ジュニアアルペン教室 １月11日、13日 8名 ・スノーボード教室 ２月8日、9日 5名 ・歩くスキー教室 ２月4日、11日、18日、25日11名 ・キッズスキー教室（こども園）1月28日、2月3日延9名 ・寿ジュニアスキー大会（寿スキー少年団記録会）2月2日小学生14名 ・町民スノーフェスティバル3月2日スキー幼児1名 小学生25名中学生2名 一般2名 スノーボード小学生11名 中学生5名 一般4名 歩くスキー 7名 ビニール滑り約40名 的入れ 約60名 宝探し約150名	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、スキー協会や浜頓別町の指導員へも指導依頼を行い開催した。 ●スキー競技について教室や大会含めて参加減少傾向にある。また、スノーボードについては、若干ではあるが増加傾向にある。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。全般的に冬季スポーツの教室及び大会への参加者が減少傾向にあるため、潜在人口はあるため、講師を含めて参加できるよう事業等の見直し時期にある。	○幼小連携を想定してキッズスキー教室の開催し、認定こども園の年長児全員がリフトに乗車して、山頂からの滑走することができるよう、マンツーマン指導ができるように調整した。冬季スポーツの取り組みが継続できるよう指導者の確保は必須であるため、スキー協会や浜頓別町の指導員へも指導依頼を行い開催した。 ●スキー競技について教室や大会含めて参加減少傾向にある。また、スノーボードについては、若干ではあるが増加傾向にある。 ◇冬季スポーツの取り組みが継続できるようさらに指導者確保に取組む必要がある。全般的に冬季スポーツの教室及び大会への参加者が減少傾向にあるため、潜在人口はあるため、講師を含めて参加できるよう事業等の見直し時期にある。
スポーツ少年団本部運営補助事業	町内のスポーツ少年団の円滑な運営を図るとともに団員のスポーツ技術の向上と青少年の健全育成、各団体相互の親睦を図る。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ・団員110名剣道9名、柔道0名、卓球19名、フットサル20名、スキー35名、ミニバス27名 ・結団式 ５月２７日 ・卒団式 ３月１４日 ＜令和６年度＞ ・団員50名剣道5名、柔道0名、卓球13名、フットサル3名、スキー12名、ミニバス17名 ・結団式 ５月２５日 ・卒団式 ３月１３日	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。また、少年団への加入人数は減少傾向にあるが、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ●中頓別町で開催予定であったスポーツ少年大会については、各市町村からの参加が中止とした。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。	○スポーツ少年団活動を通して、スポーツの楽しみや健康体力の向上、心身の健全育成を図るため、個人が複数の団体に所属し、年間を通じて様々な活動が行えるよう、各団体も含めサポートすることができた。また、少年団への加入人数は減少傾向にあるが、複数の少年団の団体への加入者が増えている。 ●少年団の指導者が減少傾向にあるため、各団体から数名ずつ養成していく必要がある。 ◇各団指導者や保護者との連携を密にして、活動が盛り上がるよう支援していく。
学校開放事業	学校体育館を開放し、町民のスポーツ活動を支援する。主な利用団体 サッカー協会、バスケットボール協会、卓球協会、スポーツしない会、卓球少年団、フットサル少年団、ミニバスケットクラブ 別紙「利用状況」を参照	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ◇引き続き学校体育館の積極的な活用を図る。	○町民がスポーツを取り組む場所の提供として、学校体育館の解放を推進し、団体サークルの効率的な利用がされている。 ◇引き続き学校体育館の積極的な活用を図る。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（３）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和5年度	令和6年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
各種スポーツ 団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が後援し、スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 ＜令和5年度＞ ・第14回中頃別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会運営支援 ＜令和6年度＞ ・第15回中頃別町長杯争奪宗谷陸地町村ゲートボール大会運営支援	○後援事業だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に支援する体制を整え、宗谷陸地町村ゲートボール大会の運営支援を行った。 ◇各団体サークルからの要望に応じ、支援活動を実施し、団体サークルの活性化を図る。	○後援事業だけでなく、大会規模に応じて運営に人的支援の要望がある際には、積極的に支援する体制を整え、宗谷陸地町村ゲートボール大会の運営支援を行った。 ◇各団体サークルからの要望に応じ、支援活動を実施し、団体サークルの活性化を図る。
社会体育施設 運営事業	町民体育館は、町内で活躍しているスポーツ団体やサークル、愛好団体のスポーツ活動の拠点として提供している。 また、学校の部活動としても活用され、多くの団体やサークルに利用されている。 別紙「利用状況」を参照	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用している。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くっており、計画的な修理修繕が必要である。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境整備が必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。	○スポーツ団体、サークル、愛好会などスポーツ活動を通して、町民の健康・体力づくり、町のスポーツの活性化に寄与している。学校開放事業による使用団体が学校行事で使用できない場合に代替施設として使用している。 ●施設の老朽化により、壁面の欠落や雨天時の雨漏りが多くっており、計画的な修理修繕が必要である。 ◇引き続き個人や団体の利用者が利用しやすい環境整備が必要がある。また、備品の入れ替え等も検討していく。
山村プール運 営事業	学校授業や子どもから大人までの水泳技能や水中運動による健康体力づくり、子どもたちの活動の場となっている。 【事業内容】 ・山村プール内外の環境整備 ・施設の維持管理 ・水質管理と利用者への安全確保 ・夜間開放 別紙「利用状況」を参照	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっているため、細谷建設と委託業務を提携し監視業務を強化する。 ◇夜間開放について、利用しやすい日程で実施する。	○親子水泳教室の開催継続を通して、水泳の楽しさと努力する態度が養われた。 ○夜間開放を実施しているが、ほとんど利用がないため、親子水泳教室を夜間開放の時間に入れるなど工夫した。 ●施設の清掃員や監視員を集めるのが難しい状況になっているため、細谷建設と委託業務を提携し監視業務を強化する。 ◇夜間開放について、利用しやすい日程で実施する。
寿野外レクリ エーション施 設事業	町の社会教育施設の管理を平成18年度から指定管理として中頃別振興公社に管理委託している。利用者の意見や意向、ニーズを把握しながら、有益で地域住民の憩いの場として、円滑・効率的な運営管理を図っている。 【指定管理施設】 ＜令和5年度＞ ・中頃別町寿スキー場リフト輸送人員 12月6,025人 1月21,946人 2月19,261人 3月7,995人 計55,227人 ・寿パークゴルフ場 シーズン券41件 利用者数622人 ＜令和6年度＞ ・中頃別町寿スキー場リフト輸送人員 12月7,225人 1月20,960人 2月19,336人 3月7,753人 計55,274人 ・寿パークゴルフ場 シーズン券36件 利用者数766人	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。 ●ふれあいスポーツ広場の利用については、町で開催する事業の外は利活用がない状況である。スキー場においては、スキー利用者は減少傾向にあるが、スノーボードの利用者は増加している。 ◇寿公園の遊具について、老朽化が著しく、遊具を利用中にケガが発生した事案もあり、公園遊具を含めた再整備が必要である。	○振興公社による指定管理、冬季スポーツによる体力の向上、健康増進のため、歩くスキーコースを常時整備し愛好者の利用向上が図られた。スキー来場者数が過去最多を記録した。 ●ふれあいスポーツ広場の利用については、町で開催する事業の外は利活用がない状況である。 ◇寿公園の遊具について、老朽化が著しく、遊具を利用中にケガが発生した事案もあり、公園遊具を含めた再整備が必要である。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（３）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和５年度 ○成果●課題◇今後の方向性	令和６年度 ○成果●課題◇今後の方向性
町民文化推進事業	地域の個人・団体サークルや、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、それぞれの活動を知ることや、お互いの交流を深める。また、地域的に優れた芸術文化に接する機会が少ないため、優れた芸術作品に接する鑑賞機会を設ける。中頓別町の文化及びスポーツの振興発展に寄与し、特に実績の顕著な方の表彰に関する必要な事項を定め、中頓別町の文化及びスポーツの普及振興に資することを目的とする。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ○文化週間 10/22～11/5 ○文化祭 11/4～11/5 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 道民芸術祭（俳句大会） ハワイ語学研修発表会 ○文化スポーツ表彰・スポーツ優良賞 土屋 湖白 氏 斎藤 蒼空 氏 澤里 亜琥 氏 能澤 珀月 氏 能澤 柚月 氏 ＜令和６年度＞ ○文化週間 10/22～11/5 ○文化祭 11/3～11/4 ○町民芸術鑑賞会 こども園遊戯 個人ピアノ発表 道民芸術祭（書道展） ハワイ語学研修発表会 ○文化スポーツ表彰・スポーツ優良賞 柳澤 花音 氏 平山 怜明 氏 斎藤 蒼空 氏 能澤 珀月 氏 村上 翔哉 氏 中澤 秀嘉 氏 矢部 智彦 氏	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。郷土芸術祭（俳句大会の開催） ●文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にある。 ◇展示会場となる町民センターが手狭になり、展示や発表について各団体サークルと協議し、有意義な会場設営と展示発表となるよう検討する。	○本町の伝統ある文化芸能活動に関わる機会、新しい芸術にふれる機会として、町民文化祭を実行委員会形式により開催した。郷土芸術祭（俳句大会の開催） ●文化団体会員の高齢化により、各サークル会員の減少や活動が縮小傾向にある。 ◇展示会場となる町民センターが手狭になり、展示や発表について各団体サークルと協議し、有意義な会場設営と展示発表となるよう検討する。
芸術文化公演事業（児童生徒芸術鑑賞事業）	日頃、舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童・生徒を対象に学校体育館等の身近な会場で舞台芸術を鑑賞する場を提供し、次代を担う児童・生徒の豊かな感性や個性を育むとともに、芸術文化を理解し、大切にすることを養うため開催する。（財源充当を図るため、毎年、北海道巡回小劇場へ補助要望を進める） 【事業内容】 ＜令和５年度＞ 10月5日 春風亭柳太郎「学校大喜利」 ＜令和６年度＞ 9月13日 有限会社 劇団トマト座「ミュージカルオズの魔法使い」	○道の巡回小劇場による文化公園の開催。春風亭柳太郎による「学校大喜利」の開催小学校57名、中学校29名 ◇日頃、芸術文化を鑑賞する機会は少ない中、児童生徒、一般町に舞台鑑賞の機会を提供できるよう、学校や関係団体と協議し継続した取り組みとする。	○道の巡回小劇場による文化公園の開催。春風亭柳太郎による「学校大喜利」の開催こども園年長8名、小学校54名、中学校33名 ◇日頃、芸術文化を鑑賞する機会は少ない中、児童生徒、一般町に舞台鑑賞の機会を提供できるよう、学校や関係団体と協議し継続した取り組みとする。
各種文化団体支援事業	各団体、サークル等が主催する大会において、教育委員会が支援し、文化スポーツ振興に寄与する。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ・道民芸術祭 10月1日 俳句大会 ＜令和６年度＞ ・道民芸術祭 11月3・4日 書道展	○中頓別町を当番町として、俳句大会を開催した。3町村の参加であったが、やまなみ吟社を中心に開催。 ●文化団体の高齢化と会員減少に伴い、運営が課題である。本町の文化団体の現状から展示主体の開催が適当である。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。	○中頓別町を当番町として、書道展を開催した。2町の参加であったが、日本習字を中心に開催。 ●文化団体の高齢化と会員減少に伴い、運営が課題である。本町の文化団体の現状から展示主体の開催が適当である。 ◇芸術文化の継承につながるよう新規会員の発掘への取り組みをサポートし、若返りを図る。

6. 施策項目（事務事業）ごとの取り組み概要・成果や課題・今後の方向性

（３）大人も一緒に学べるまちづくり

②いくつになっても楽しく参加できる文化・スポーツ活動の推進

施策項目	取り組み概要	令和５年度	令和６年度
		○成果●課題◇今後の方向性	○成果●課題◇今後の方向性
中順別文化塾	教育関係者を講師に招き、道内や全国各地における教育の現状を把握するとともに、住民が地域に対して興味関心を持ってもらうことを目的とする講演会を開催する。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ・第１回文化塾 120名 「自分とみんなで作る新しい学校」 SE-N0によるライブディスカッション ＜令和６年度＞ ・第１回文化塾 49名 「いのち」と向き合う旭山動物園坂東園長による講話 ・第２回文化塾 123名 「出会いから夢へ、夢から目標へ」フリー三味線演奏家奈良海翔氏によるライブディスカッション	○新しい学校づくりと連携し、音楽コンサートと新しい学校の意見交換を開催した。 ●２回の文化塾の開催を予定していたが、講師との日程調整が不調となり１回の開催となった。 ◇次年度以降も学習機会の提要の拡大のため、引き続き事業を実施する。	○新しい学校づくりと連携し、音楽コンサートと新しい学校の意見交換を開催した。●２回の文化塾の開催を予定していたが、講師との日程調整が不調となり１回の開催となった。◇次年度以降も学習機会の提要の拡大のため、引き続き事業を実施する。
文化財保護委員会運営事業	本町の区域内に所在する文化財(国又は道の指定するものを含む)の、保全及び活用のために必要な措置を講じ、文化財の保全保護と活用に資する。 【事業内容】 ＜令和５年度＞ ・調査活動 ５月２４日７名 ＜令和６年度＞ ・調査活動 ５月２０日７名	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。広報担当の随行により、文化財保護委員の活動について周知した。 ●高山植物の公表の可否 ◇高山植物群について、盗掘やがけ崩れ等による被害はないが、年々、植栽が減少しているため、継続した観察活動が必要である。	○高山植物群の調査を文化財保護委員と教育委員会職員で調査した。広報担当の随行により、文化財保護委員の活動について周知した。 ●高山植物の公表の可否 ◇高山植物群について、盗掘やがけ崩れ等による被害はないが、年々、植栽が減少しているため、継続した観察活動が必要である。

【学校支援地域本部事業】

1. 学校活動への支援活動

①中頓別小学校

事業	開催日	場所	内容	対象	教育支援員等
3、4年生	9月24日	小学校	森林教室（座学） ・オリエンテーション ・樹種について ・森の役割について ・林業、植樹について	4年生	【指導林家】 峰友武氏 【森林室】 2名
	9月2日、9日、13日	小学校図工室	楽器作り ・楽器作成（木工） ・割合（算数）について ・和音について	4年生	【指導林家】 峰友武氏 【森林室】 2名
	10月15日	旭台地区山林	植樹体験 ・植樹体験	4年生	【指導林家】 3名 【森林室】 平瀬技師 【林務課】 2名
	12月12日	家庭科室	バターづくり体験 ・酪農クイズ ・バター作り体験	3、4年生	【佐藤牧場】 佐藤氏 【東宗谷農協 中頓部支店】 高橋氏 【JA 青年部】 3名
	2月7日	小学校	駐在所インタビュー ・電話にて質疑応答	3年生	【中頓別駐在所】 1名
	3月7日	小学校	東野小学校 Zoom 交流授業 ・自己紹介 ・発表、感想 ・質問コーナー（自由交流）	5、6年生	【東野小学校】 木原教諭 5、6年生担任教諭 5、6年生童 ・平岡氏（ICT 支援員）

	5年生	10月11日	小学校	認知症サポーター養成講座	5年生	【保健福祉課】1名
		10月16日	老人ホーム長寿園	長寿園見学 ・施設見学 ・利用者の生活について ・介護の仕事について ・質疑応答	5年生	【老人ホーム長寿園】 1名
	6年生	11月21日	小学校	焼肉ジャンボについて ・飲食店の仕事について	6年生	【焼肉ジャンボ】 正田氏
		11月20日	小学校	イベントについて ・観光協会の仕事について ・北緯45度祭りについて	6年生	【観光協会】 長谷川氏
		11月25日	小学校	中頓別の木について ・中頓別の木がどのように使われているのか ・新しい校舎について	6年生	【森林組合】 平田氏 【産業課】 西川課長 【日建設計】 岩村氏 【推進室】 室田主幹
		12月4日	小学校	中頓別町の動物について ・自己紹介 ・質疑応答	6年生	【ガイタサービスTEKU-TEKU】 三浦毅氏
生活科	ヤマフクコーヒー訪問	6月5日	ヤマフクコーヒー	2年生まちたんけん「ヤマフクコーヒー訪問」 ・店内見学 ・設備・機材見学 ・質疑応答	2年生 (+5年生 1名)	【ヤマフクコーヒー】 蓮尾愛氏

	里芋と蜂蜜訪問	6月5日	里芋と蜂蜜	2年生まちたんけん「里芋と蜂蜜訪問」 ・店内見学 ・質疑応答	2年生 (+5年生 1名)	【里芋と蜂蜜】
	中野商店訪問	6月17日	中野商店	2年生まちたんけん「中野商店訪問」 ・店内見学 ・質疑応答	2年生	中野 未琴氏 (中野商店)
	消防署見学	6月17日	南宗谷消防組合中頓別支署	2年生まちたんけん「消防署見学」 ・施設見学 ・質疑応答	2年生	【消防職員】
	図書館訪問	9月11日 12月4日	郷土資料館図書室	2年生まちたんけん「図書館訪問」 ・図書館見学 ・本の借り方について) ・インタビュー	2年生	【郷土資料館 図書室】 松田留美氏
	除雪車見学	9月19日	北海道開発局 除雪ステーション	1年生「はたらくるま」 除雪車両見学 ・除雪車についての説明 ・乗車・操作体験	1年生	【開発局】 【丹羽建設】 計14名
社会科	消防署見学	7月19日	南宗谷消防組合中頓別支署	3年生「くらしを守る」消防署見学 ・仕事・訓練について ・車両見学 ・放水体験	3年生	【消防職員】 5名
	浄水場見学	8月27日	中頓別浄水場	4年生「住みよいくらしをつくる」浄水場見学 ・施設見学 ・質問	4年生	【浄水場】 鴻上所長 【役場建設課】 1名
	下水処理場見学	8月29日	中頓別町下水道管理センター	4年生「住みよいくらしをつくる」下水処理場見学 ・施設見学 ・微生物観察（顕微鏡）	4年生	【下水道管理センター】 4名 【役場建設課】 後藤課長

社会科	ごみ処理場見学	10月3日	中頓別町一般廃棄物埋立処理施設	4年生「住みよいくらしをつくる」ゴミ処理場見学 ・施設説明・見学 ・質問	4年生	【中頓別振興公社】 3名
	防災学習会	12月19日	中頓別町役場	4年生「自然災害からくらしを守る」防災学習会 ・防災備蓄品説明 ・物品設置体験	4年生	【役場総務課】 市本課長
	スーパー見学	12月11日	フレッシュフードやすかわ	3年生「はたらく人とわたしたちのくらし」スーパー見学 ・店内見学 ・商品、陳列等について	3年生	【フレッシュフードやすかわ】 安川裕一氏
	農場体験	10月30日	佐藤牧場	3年生「はたらく人とわたしたちのくらし」農場体験 ・酪農体験 ・質疑応答	3年生	【佐藤牧場】 佐藤氏 【東宗谷農協中頓部支店】 高橋氏 【JA 青年部】 3名
	茶道	11月13日	町民センター和室	6年生「歴史」茶道 ・四規七則 ・点前	6年生	【茶道サークル】 8名
音楽	敬老会発表	9月1日	町民センター大ホール	5, 6年生学習発表 ・合唱	5, 6年生	【保健福祉課】
	学習発表 長寿園	10月30日	老人ホーム長寿園	長寿園学習発表 ・音楽 ・劇	1, 2年生	【長寿園】
	支援 水泳授業	7、8、9月 計6回	山村水泳プール	水泳授業支援（全学年）	全校児童	延 25 名
	授業支援 スキー	1、2月 計9回	寿スキー場	スキー授業指導支援(全学年)	全校児童	延 31 名
け	スキー ワックス掛け	11月13日 ～12月13日 (土日月祝除)	町民センター	低学年児童のスキー板のワックス掛け	低学年児童・こども園	【教育委員会】 3名

人権教室	9月10日、11日	小学校	各学年人権教室 ・1、2年生「ずっといっしょにいたいから」 ・3、4年生「プレゼント」 ・5、6年生「しらんぷり」	全校児童	【人権擁護委員】2名 【役場総務課住民G】1名
租税教室	7月10日	小学校	6年生租税教室 ・税に関するビデオ鑑賞 ・質疑応答	6年生	【住民G】 石川課長
ゆめのたねづくり	11月27日	小学校	4年生学活「ゆめのたねづくり」 ・ゆめのたねづくり(役場ホールモニュメントへ将来の夢を預ける)	4年生	前田あやの氏 【産業課】 2名
整備活動 学校環境 畑おこし	5月15日	小学校 畑	畑おこし		井上光生氏 井上ひとみ氏

②中頓別中学校

事業	開催日	場所	内容	対象	教育支援員等
総合学習支援	5月28日	中学校	「中頓別の魅力再発見」 (中頓別と林業) ・中頓別の森林、林業、林産業に関わる講義 ・質疑応答	1年生	【森林組合】 峰友武氏 【森林室】 2名
	6月17日	小頓別人工林間伐現場	林業の仕事についての見学	1年生	【森林組合】 【森林室】
	8月29日	そうや自然学校	自然体験学習 ・工作	1年生	【そうや自然学校】2名
	9月6日	もうもう	牛乳を用いた調理実習	1年生	【もうもう】2名 【産業課】2名
	6月1日	受入れ先職場	職場体験学習	2年生	各職場
授業支援 柔道	11、12月 計8回	柔剣道場	1、2年生の柔道授業支援	1、2年生	丸山博光氏

支援 スキー 授業	1、2月 計2回	寿スキー場	スキー授業指導支援	1、2年生	延2名
人権 教室	11月8日	中学校	年人権教室 ・DVD「いじめ、一歩踏み出す勇気」 ・DVD 振り返りと講和	全校生徒	【人権擁護委員】2名

③学校図書・読書の支援

小学校	読聞かせ、学級文庫入替、ディスプレイ作成、新刊図書登録、図書室模様替え、図書整理	読み聞かせボランティアサークル このゆびと〜まれ！
こども園	絵本の読み聞かせ	

2. 小学校・中学校との情報交換

○小学校…毎週火・木 15:00～定期打合せ(4～6月)、以降随時メール・電話等受付

○中学校…随時メール・電話等受付

3. 活動紹介(広報周知)

○SNSによる紹介(中頓別町 FB、教育委員会 Instagram)

随時

4. 交流事業(講演会含む)の開催

①夏休み体験学習

開催日	場所	内容	参加人数
8月6日(火)	町民センター、道の駅周辺	写真絵本づくり 講師…小寺卓矢	19名

②親子水泳教室

開催日	場所	内容	参加人数
7月25日(木) 7月26日(金)	山村水泳プール	親子で水泳の基礎を学び、安全に水泳を楽しむため、地域の経験者に基本的な指導をしてもらい、水泳技術の向上と体力増進を図った。	延24名 (登録者14名)

③子どもチャレンジ教室

開催日	場所	内容	参加人数	教育支援員等
8月1日(木) 2日(金) 19日(月) 20日(火)	そうや自然学校、頓別川	・自然体験活動(川遊び、フローティング、プチカヌー等) ・キャンプ ・BBQ	延54名 内、宿泊(全日程)28名	11名 (内、3名大学生)
1月14日(火) 15日(水)	そうや自然学校、ピンネシリ地区	・雪上運動会、野外活動、キャンプ ・スノーシュートレッキング、焚火(15日)	21名 (内、宿泊11名)	8名 (内、3名大学生)

【なかとんべつ放課後子どもプラン（教室）事業】

参加登録人数 54 名

（常時活動）

宿題・プリント 毎日

運動（戸外運動）月 3 ～ 5 回程度

英語タイム 隔週火曜日

おやつ提供 毎週金曜日

（平日）

月	実施日	活動場所	主な活動内容(常時活動を除く)	延人数
4	21	町民センター、 町民体育館	開講式(職員紹介、自己紹介、マジックショー)、工作 (イースターエッグ、こどもの日、等)、作文	574
5	21	町民センター、 町民体育館、 図書室、 認定こども園	こいのぼり、手紙、種まき、工作、花摘み、植樹体験、 炭だし体験、モルック	505
6	20	町民センター、 町民体育館、 図書室、 小学校校庭	工作、かけっこ教室、図書室ポップづくり、球根掘り、 花植え、ミニ運動会	491
7	22	町民センター、 小学校校庭、 図書室	紙飛行機大会、工作(お祭り)、桜の実採り、プラン 祭、染物教室、図書まつり、スライムづくり	476
8	21	町民センター、 図書室、 認定こども園	七夕飾りつけ、ボッチャ、工作、プラン祭り、人形劇鑑 賞	394
9	19	町民センター、 畑、 小学校校庭、 憩いの広場	じゃがいも収穫体験、プログラミング体験、自然体験 (たき火でじゃがバタ)、工作(めんこ作り、メッセージカ ードづくり)、花炭材料集め	424
10	22	町民センター、 下頓別の畑、 もうもう、 町民体育館	松ぼっくり拾い、工作(ハロウィン、文化祭作品)、野 菜収穫体験、けん玉作り、サツマイモ収穫体験、かぼ ちゃランタン作り、花壇整備、ハロウィンパーティー、 球根植え、ひまわりの種とり	593

11	20	町民センター	折り紙、オセロ大会、昔遊び、モルック、工作(クリスマス)、読書	546
12	20	町民センター	クリスマスツリー飾りつけ、工作(クリスマス、20歳を祝う会)、手紙、異文化交流、カレンダー作り	432
1	11	町民センター	工作(節分)、豆まき会準備、お面配り、手芸	409
2	18	町民センター	節分会、アイスキャンドルづくり、工作(ひな祭り)、スライドショー扉絵作成、作文	423
3	20	町民センター、 認定こども園	ひな祭り会、手紙、健康支援体操参加、工作(プレゼント)、6年生を送る会兼閉講式(司会、スライドショー)、避難訓練参加	475
合計	235 日			5,742 人

(うち、長期休業期間中)

月	実施日	活動場所	主な活動内容(常時活動を除く)	延人数
4	5	町民センター	自己紹介、館内案内(ウォークラリー)、工作	125
7	4	町民センター、 図書館、 山村プール	図書館へ行こう、水遊び、段ボール遊び、プール	81
8	15	町民センター、 図書室、 ピンネシリ、 山村プール	写真絵本作り参加、工作(七夕飾り)、木工教室(オセロのこま作り)、プール、水遊び	227
12	3	町民センター 図書館、 町民体育館	カレンダー作り、図書館へ行こう、大掃除	45
1	8	町民センター、 小学校グラウンド	正月遊び、工作(節分)、大学生のレクリエーション、 陶芸体験、UDL学習体験会	110
3	4	町民センター、 図書館、 郷土資料館	工作(プレゼント)、郷土資料館見学、大掃除	56
合計	39 日			644 人

【家庭教育支援事業】

①ブックスタート（読み聞かせ、本のプレゼント）

開催日	令和6年5月16日（木）、8月22日（木）、11月14日（木） 令和7年2月13日（木）
目的	幼児期のことばと心を育むため温かなぬくもりの中で、優しく語り合う時間を設け、親子で絵本を開く楽しいひとときを分かち合うことを目的とする。
場所	保健センター
講師	図書ボランティアサークル
参加者	5名（対象5名）

②植樹体験

開催日	令和6年5月30日（木）
目的	植樹体験を遠し、地域の方々との関わり、自然の大切さを学ぶ
場所	こども園園庭（南側）
講師	細谷建設株式会社・（株）ダイシン工業 6名
参加者	13名（4，5歳児）

③キッズスキー教室（こども園年長児）

開催日	令和7年1月28日（火）、2月3日（月）、2月7日（金）
目的	冬季戸外活動を実施し、スキー体験やボブスレー、雪遊びなどを行う中で雪に親しむ心を養い、屋外活動の促進定着を目指す。特に、スキーについては小学校入学後のスキー授業へのスムーズな導入を目標とする。
場所	寿スキー場
講師	こども園大島園長、スキー協会3名、教育委員会2名、こども園職員2名
参加者	こども園年長児9名、延17名

④スキーワックス掛け事業

開催日	令和6年11月13日より令和6年12月13日（土日月祝日除く）
場所	町民センター
支援員	教育委員会3名
目的	こども園園児がスキーシーズン初めから安全に滑れるよう、スキー板へのワックスがけを実施。（小学校低学年への学校支援事業としても実施している。）

⑤こども園人権教室

開催日	令和6年10月8日(火)
場所	こども園
講師	今野人権擁護委員
目的	友達への優しい言葉かけや行動について話し、思いやりの心について考える時間とする。

⑥こども園年長児お茶会

開催日	令和6年3月4日(火)
場所	町民センター
支援員	茶道サークル 9名
目的	茶道の規律・規範に触れ学校生活に必要なルールを守る心を育む。

【資 料】

宗谷教育局等による教育委員会及び学校訪問(指導)関係の状況

項 目	日 程	指導者(訪問者)	訪問先等	指導内容等
学校教育 指導 (学 校 経 営訪問) 一次訪問	06.06.03	義 務 教 育 指 導 監・義務教育指 導班指導主事・ 社会教育指導班 主査 (オンライン)	中頓別小学校	○学校経営について協議・指導助言 ○学校教育について説明・指導助言 ○社会教育主事より説明・意見交流
	06.06.17	義務教育指導班 指導主事・社会 教育指導班主査 (オンライン)	中頓別中学校	○学校教育について説明・指導助言 ○社会教育主事より説明・意見交流
	06.06.24	義務教育指導監 (オンライン)		○学校経営について協議・指導助言
学校教育 指導 二次訪問	令和 6 年度、中頓別小学校、及び、中頓別中学校は二次訪問の対象校とはならなかつた。			
学校経営 訪問 二次訪問	06.12.20	義務教育指導監 (オンライン)	中頓別小学校	○検証改善サイクルシートを用いた協議・指導助言
	06.01.29	義務教育指導監 (オンライン)	中頓別中学校	○検証改善サイクルシートを用いた協議・指導助言
学校教育 指導 要請訪問	06.07.17	義務教育指導班 指導主事 (直接訪問)	中頓別中学校	○授業参観(各学年・2年国語(特設授業)) ○リフレクション ○指導・助言
	06.12.09	義務教育指導班 指導主事 (直接訪問)	中頓別小学校	○教育課程等に関する協議・指導助言 ○授業参観(各学年) ○特別授業参観 ○特設授業に関するリフレクション ○指導・助言

■町民センター

年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
部屋別	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
大ホール	49	1,883	58	881	116	2,909	113	2,766
第1研修室	42	203	81	287	79	338	157	655
和室1・2	114	546	482	5,181	249	6,244	251	6,274
第2・3研修室	71	1,422	55	1,091	67	655	65	629
レク室	28	199	65	643	83	729	64	611
視聴覚室	1	8	2	11	0	0	0	0
調理室	78	346	47	537	44	320	41	311
茶室	38	209	39	172	32	166	37	181
青少年研修室	7	51	12	65				
応接室	242	6,608						
計	670	11,475	841	8,868	670	11,361	728	11,427
使用料(円)	99,583		130,098		214,073		98,827	

※令和4年度より応接室は教育長室となったため貸館していない。

※令和5年度より青少年研修室は新しい学校づくり推進室になったため貸館していない。

■郷土資料館

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数		242	308	309	304
有 料	大 人	個人	87	142	180
		団体	0	0	0
	小 人	個人	0	6	5
		団体	0	0	0
	計	87	148	185	178
使用料合計		10,440	17,400	21,900	21,240
無 料	大人	16	66	19	22
	小人	7	30	23	14
	計	23	96	42	36
合計		110	244	227	214

■青少年柔剣道場

《 柔剣道場 》

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
柔 道	回数	8	8	8	8
	人数	64	47	75	75
剣 道	回数	76	89	82	82
	人数	581	468	381	381
そ の 他	回数	36	45	45	45
	人数	209	368	272	272
合 計	回数	120	142	135	135
	人数	854	883	728	728
使用料(円)		17,250	18,840	16,520	14,820

※使用料に研修室有料分含む

《 研修室 》

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
無 料	回 数	18	16	9	10
	人 数	75	80	40	52
有 料	回 数	0	0	1	2
	人 数	0	0	2	12
計	回 数	18	16	10	12
	人 数	75	80	42	64

■小頼別多目的集会施設利用状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
無料	利用日数	0	4	7	6
	利用人数	0	41	54	36
有料	利用日数	0	2	0	3
	利用人数	0	30	0	45
	使用料	0	14,360	0	89,460
合計	利用日数	0	6	7	9
	利用人数	0	71	54	81

《 図書室 》

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数		301	308	308	303
利用者数	一般	852	980	784	892
	中高生	25	23	24	34
	小学生以下	541	621	450	371
	計	1,418	1,624	1,258	1,297
貸出冊数	一般	3,056	3,385	2,560	2,457
	中高生	113	126	51	75
	小学生以下	1,698	1,732	1,438	882
	道移図書	58	41	12	30
	計	4,925	5,284	4,061	3,444
うち児童書		2,957	2,622	2,070	1,658

■創作活動施設使用状況

利用別	団体名				令和4年度			令和5年度			令和6年度			備考
					人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	人数	回数	述べ人数	
無料	やまなみ吟社(俳句会)	6	4	24	6	7	42	6	2	12				毎月第3水曜日
	陶芸サークル	7	45	133	6	38	118	5	36	104	7	35	102	4月～10月第2、第4、火曜、水曜
	文化協会													5月
	子ども安全パトロール隊													7月
	パークゴルフ協会会議													5月、11月
	ゲートボール協会会議													
	教育委員会関係行事													放課後子どもプラン
	白百合会													
	中頃別吹奏楽団													
	中頃別駐在所							2	252	504				
小計	13	49	157	12	45	160	13	290	620	7	35	102		
有料	パークゴルフ協会総会													
	個人1													
	個人2													
	個人3(教育支援活動運営委員会)													
	個人4													
	パークゴルフ協会忘年会													
	ゲートボール協会新年会													
	こども安全パトロール隊													
	中頃別神社総代会													
	教職員互助会													
	中頃別神社祭典実行委員会													
	中頃別吹奏楽団													
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	使用料計	0			0			0			0			
合計	13	49	157	12	45	160	13	290	620	7	35	102		

■学校開放

《中頓別小学校体育館》

区 分	使用料		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卓球スポーツ少年団 ※卓球協会と合同で活動		令和4年度	26	2	0	34
		人数	179	40	0	450
		回数	17	29	32	31
		人数	255	412	312	
		回数	31	34	25	37
		人数	606	1,032	490	725
		回数	21	20	20	11
		人数	267	249	228	130
		回数		2	2	2
		人数		90	79	64
		回数				
		人数				
		回数				
		人数				
小 計		回数	95	87	79	115
		人数	1,307	1,823	1,109	1,369
バスケットボール協会 火	有料	回数	14	3	3	33
		人数	121	31	19	396
サッカー協会 水		回数	13	1		
		人数	92	9		
卓球協会 木		回数	17	36	39	7
		人数	34	562	629	61
スポーツしない会？ 土		回数	24	29	31	28
		人数	83	120	131	139
野球部(仮) 金		回数				
		人数				
走友会 月		回数	27	30	21	9
		人数	96	134	50	18
フットサル		回数		21	31	11
		人数		202	279	110
その他		回数				
		人数				
長寿園		回数				
		人数				
小 計		回数	95	99	94	77
		人数	426	856	829	614
合 計		回数	190	186	173	192
		人数	1,733	2,679	1,938	1,983
使用料(円)			36,500	32,360	56,180	48,300

■社会体育施設

《町民体育館団体利用状況》

区 分	使用料		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ゲートボール協会 (月・水・木・日)	有料	回数	83	100	107	102
		人数	588	486	618	592
卓球愛好会 月・火・木		回数	57	57	61	52
		人数	136	109	119	104
バレーボール協会 月・木		回数	25	40	43	36
		人数	307	536	507	496
育児婦人運動部 火・金		回数				
		人数				
ミニバレー愛好会 水		回数	28	41	43	47
		人数	252	372	388	487
ミニバレーを楽しむ会 金		回数	3	0	0	
		人数	22	0	0	
パークゴルフ協会		回数				
		人数				
バドミントン愛好会 火		回数				
		人数				
スポーツしない会？ 土		回数	3	4	4	4
		人数	11	18	13	13
卓球協会 土		回数	1			
		人数	14			
走友会 月・火		回数				
		人数				
その他		回数		2	14	
		人数		2	14	
小 計		回数	200	244	272	241
		人数	1,330	1,523	1,659	1,692
中頓別中学校	無料	回数	17	39	30	22
		人数	135	219	203	60
小 計		回数	17	39	30	22
		人数	135	219	203	60
合 計		回数	217	283	302	263
		人数	1,465	1,742	1,862	1,752
使用料(円)			126,800	125,510	134,350	134,550

■山村水泳プール

年度			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
開館日数			52	65	65	58	
時間 帯別	午前	大人	80	95	72	44	
		小人	233	228	179	201	
	午後	大人	190	186	151	84	
		小人	595	554	425	380	
	夜間	大人	6	14	29	25	
		小人	2	32	22	21	
	料 金 別	有料	午前	45	56	17	17
			午後	140	126	89	84
夜間			6	0	0		
無料		団体	384	466	433	532	
		小人(団体除く)	531	450	316	299	
		人数計	1,106	1,098	855	932	
使用料(円)		19,100	18,200	10,200	11,500		

■寿野外レクリエーション施設

《寿スキー場 リフト券販売状況》

区 分	対 象		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			令和4年度		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
シーズン券	大人	13,000	69	897,000	69	897,000	68	884,000	68	884,000
	高校生以下	7,000	63	441,000	65	455,000	67	469,000	81	567,000
	60歳以上	7,000	21	147,000	15	105,000	17	119,000	10	70,000
				0		0		0		0
回数券 (11回券)	大人	1,300	471	612,300	408	530,400	254	330,200	480	624,000
	高校生以下	800	279	223,200	236	188,800	236	188,800	280	224,000
	60歳以上	800	6	4,800	10	8,000	9	7,200	10	8,000
1 日 券	大人	1,950	159	310,050	271	528,450	206	401,700	254	495,300
	高校生以下	1,200	135	162,000	102	122,400	153	183,600	263	315,600
	60歳以上	1,200	2	2,400	8	9,600	7	8,400	10	12,000
1 回 券	大人	130	261	33,930	213	27,690	213	27,690	286	37,180
	高校生以下	80	241	19,280	103	8,240	103	8,240	180	14,400
	60歳以上		3		7	0	7	0	10	0
団 体		1,300	0	0	0	0	0	0		0
		800	0	0	0	0	0	0		0
その他	ハトール員	8,000	6	48,000	5	40,000	5	40,000	6	48,000
	大人減免	1,300	0	0	65	84,500	65	84,500	33	42,900
	高校生以下減免	480	0	0	412	197,760	412	197,760	157	75,360
	学校授業大人	780	193	150,540	175	136,500	175	136,500	204	159,120
	学校授業小人	480	851	408,480	757	363,360	757	363,360	711	341,280
計				3,459,980		3,702,700		3,449,950		3,918,140
合計				3,459,980		3,702,700		3,449,950		3,918,140
営業日数／リフト輸送人員			73日／59,680人		81日／56,350人		76日／55,227人		75日／55,274人	

※月別リフト輸送人員

	R3	R4	R5	R6	営業日
12月	8,470	7,530	6,025	7,225	11
1月	24,056	24,274	21,946	20,960	29
2月	18,588	17,209	19,261	19,336	28
3月	8,566	7,337	7,995	7,753	7
計	59,680	56,350	55,227	55,274	75

《 パークゴルフ場 》

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
シーズン券町内	49	196,000	4	16,000	41	164,000	36	144,000
シーズン券町外	0	0	0	0	0	0		
小計	49	196,000	4	16,000	41	164,000	36	144,000
1日券町内	156	31,200	162	32,400	173	34,600	172	34,400
1日券町外	112	33,600	280	84,000	449	134,700	594	178,200
小計	268	64,800	442	116,400	622	169,300	766	212,600
合計	317	260,800	446	132,400	663	333,300	802	356,600

《 テニスコート 》

区分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
区分	使用料	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
町内	200	17	3,400	3	600	3	600	5	1,000
町外	300	40	12,000	15	4,500	16	4,800	74	22,200
計		57	15,400	18	5,100	19	5,400	79	23,200

教育関係団体活動状況

□体育団体関係

令和7年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
スポーツ協会	1	サッカー協会	工藤 正勝	桜田 正考	小学校体育館 ふれあいスポーツ広場(夏期のみ)	毎週水曜日	19:00～21:00
	2	バスケットボール協会	古谷 裕一	福島 靖弘	小学校体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	3	バレーボール協会	寺島 寛	古谷 真澄 奥山 千秋	町体育館	毎週月・木曜日	19:00～21:00
	4	スキー協会	千田 和彦	長谷川克弘	寿スキー場	シーズン中	随時
	5	走友会	石神 忠信	石神 忠信	通年 冬期:小学校体育館	随時 冬期:月曜日	随時 19:00～21:00
	6	パークゴルフ協会	赤川 慶一	内田 昌治	寿公園パークゴルフ場	5～10月 随時	5:00～12:00 13:00～19:00
	7	ゲートボール協会	川久保克孝	藤井 富子	夏期:メモリアルパーク 冬期:町民体育館	夏期:随時 冬期:日・月・水・木・土曜日	8:30～11:30
	8	野球連盟	今野 真二	星川 慎吾	夏期:ふれあいスポーツ広場 冬期:小学校体育館	夏期:月・水・金曜日 冬期:金曜日	18:00～20:00
	9	剣道連盟	十倉 仁	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	10	柔道協会	後藤 敏直	丸山 博光	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	11	卓球協会	長谷川克弘	本間 智久	小学校体育館	毎週木曜日	19:00～21:00
スポーツ少年団	1	剣道少年団	渋谷 義深	渋谷 義深	青少年柔剣道場	毎週火・木曜日	18:00～20:00
	2	柔道少年団	丸山 博光	古谷 裕一	青少年柔剣道場	毎週土曜日	15:00～17:00
	3	卓球少年団	平山 翔一	平山 翔一	小学校体育館	毎月1～2回土曜日	10:00～12:00
	4	フットサル少年団	桜田 正考	桜田 正考	小学校体育館	毎週水曜日	17:30～19:00
	5	寿スキー少年団	長谷川克弘	野田 繁実	寿スキー場	シーズン中 土・日曜日、祝日	10:00～12:00 又は 13:00～15:00
	6	ミニバスケットボール少年団	石川 章人	石川 章人	小学校体育館	毎週金曜日	17:30～19:00
愛好会・サークル	1	卓球愛好会		武田 静子	町体育館	毎週月・火・木曜日	13:00～15:00
	2	ミニバレーを楽しむ会	小倉 弘	小倉 弘	町体育館	毎週金曜日	19:00～21:00
	3	バドミントン愛好会		五家 幸恵	町体育館	毎週火曜日	19:00～21:00
	4	ミニバレーボール愛好会	寺島 晴代	奥山 千秋	町体育館	毎週水曜日	19:00～21:00
	5	育児婦人運動部	休会中				
	6	スポーツしない会?	長谷川克弘	本間 智久	小学校体育館	毎週土曜日	19:00～21:00

教育関係団体活動状況

□文化団体関係

令和7年3月31日現在

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	活動日	活動時間
文化 協 会	1	やまなみ吟社(俳句)	東海林繁幸	東海林繁幸	創作活動施設ゆめくらぶ ※12～3月町民センター第1研修室	毎月第3水曜日	19:00～21:00
	2	日本詩吟学院岳風会	小林奈々子	小林 嘉治	町民センター第1研修室	月1回	13:00～15:00
		中頓別支部(詩吟)					
	3	茶道サークル		石井 佳美	町民センター茶室	隔週火・土曜日	13:00～15:30
	4	東海林社中(華道)	休会中				
	5	陶芸サークル	姉齒 裕子	高口 智子	創作活動施設ゆめくらぶ	5月～11月 第2・第4火・水曜日	13:00～15:00
							19:00～21:00
	6	絵手紙クラブ	高橋 妙子	高橋 妙子	青少年柔剣道場研修室	第2・第4水・木曜日	水 19:00～21:00
							木 13:00～15:00
	7	ミックスグループ	休会中				
	8	あかねカラオケサークル	休会中				
	9	知足会(茶道)	休会中				
	10	しあわせカラオケ会	天野 宣子	天野 宣子	町内各所	月1回	18:00～20:00
	11	彩北絵画クラブ(絵画)	東海林繁幸	東海林繁幸		随時	
	12	寿カラオケサークル		峰友恵美子	町民センター 出演者控室	毎週金曜日	13:00～16:00
	13	囲碁愛好会	岩田 利雄	杉本 吉春	町民センター 出演者控室	10月～3月	13:00～16:00
						毎週火・木曜日	
	14	中頓別吹奏楽団	水野 秀洋	水野 秀洋	創作活動施設ゆめくらぶ 町民センター 大ホール	毎週水曜日	18:00～21:00
15	和太鼓団一雪峯一	パシオン・ダリン・英男	パシオン・ダリン・英男	町民センター 大ホール(ステージ)	毎週火・木曜日	火 18:45～21:00 木 19:00～21:00	
16	e-CA	石井 友法	石井 友法	町民センター レク室	月1回	19:00～21:00	
17	竹細工サークル	植村 友貴	石井 友法	町民センター 大ホール(ステージ)	月1回		
18	中頓別ミュージッククラブ	石黒 和浩	石井 友法	町民センター レク室	毎週水曜日	19:00～21:00	

□その他教育関連団体関係

		団体名	会長/代表者	団体連絡者	活動場所	主な活動内容
その他	1	読み聞かせボランティア サークル「このゆびと～ま れ」	太田 美千代	郷土資料館	青少年柔剣道場研修室(和室)	絵本の読み聞かせ等のボランティア活動
	2	スピン会	石黒 由里子	石黒 由里子	地域づくり活動支援センター 町民センター 第一研修室	羊毛による編み物